

愛知の離島

2025 年 11 月



目 次

■資料編

1	離島振興の沿革	1
2	概況	
(1)	自然条件	1
(2)	人口・世帯数	2
3	交通・通信	
(1)	本土との交通	3
ア	佐久島航路	3
イ	日間賀島、篠島航路	4
(2)	島内交通	
ア	道路整備	6
イ	交通手段	7
(3)	情報通信	8
4	産業	
(1)	産業構造	9
(2)	主な産業	
ア	水産業	9
(ア)	水産物の陸揚量等	11
(イ)	漁港	11
イ	農業	12
ウ	商工業等	13
5	生活環境	
(1)	水道	14
(2)	エネルギー供給	15
(3)	ごみ処理	15
(4)	し尿処理等	15
6	医療・福祉	
(1)	保健・医療	15
(2)	高齢者福祉	16
(3)	児童福祉	17
7	教育・文化	
(1)	学校教育	17
(2)	生涯学習	18
(3)	文化の振興	19

8	消防・防災、国土保全	
(1)	消防・防災	19
(2)	国土保全	
ア	海岸保全	20
イ	森林保全、治山等	20
ウ	自然環境の保全	21
9	観光・レクリエーション	22
10	離島振興対策事業の実施状況	
(1)	第6期離島振興対策事業（2003～2012年度分）の実績	31
(2)	第7期離島振興対策事業（2013～2022年度分）の実績	32
(3)	第8期離島振興対策事業（2023～2032年度分）の実績	33
11	愛知県離島振興計画に係る県・市町等の取組実績（2024年度実施）	34
■参考資料		
1, 2	人口の推移	54
3	世帯数の推移	55
4	年齢階級別構成比	55
5	人口及び世帯数の推移	56
6	年齢別人口	57
7	人口の異動状況	58
8	産業別就業者数	59
9	観光地点等入込客数、宿泊収容能力の推移	60
10	社会生活環境施設の整備状況	61
11	西尾市及び南知多町の財政状況（2023年度決算）	62
12	島内公共施設一覧	63
13	島の歴史（明治以降）	
(1)	佐久島	64
(2)	日間賀島	67
(3)	篠島	70

1 離島振興の沿革

離島は、厳しい自然的条件（環海性、隔絶性、狭小性等）により、多くの面で本土との格差が存在することから、それを是正し、住民生活の安全・向上を図ることを目的として、1953年に議員立法により離島振興法が制定された。離島振興法は10年の限時法として制定され、その後も10年毎に改正・延長が行われている。

同法に基づき、第1次指定として、伊豆諸島始め12地域が「離島振興対策実施地域¹」に指定されたが、当初は指定基準が厳しく、本県の離島は指定に至らなかった。このため、当時の一色町、日間賀島村、篠島村と愛知県が指定基準の緩和を強く働きかけたこともあり、1957年12月23日の第7次指定において、指定地域名「愛知三島」として、佐久島、日間賀島、篠島が、一括して離島振興対策実施地域に指定された。

本県では、「愛知三島」の指定以降、離島振興法に基づく離島振興計画³を策定し、離島の産業経済の活性化、民生の安定、福祉の向上等を図っている。

2023年3月31日には、改正離島振興法（2022年11月28日公布、2023年4月1日施行）に基づき、新たに第8期愛知県離島振興計画（2023年度～2032年度）を策定した。今後は同計画に基づき、国や地元市町等とも連携・協力しながら、産業基盤・生活基盤等の整備充実、離島の特性を生かした創意工夫による地域の自立的発展、島民の生活の安定と福祉の向上、良質な水産物の安定的な供給と豊かな自然環境・生態系の保全等に取り組んでいく。

2 概況

（1）自然条件

三島は、知多半島及び渥美半島に囲まれた三河湾の湾口部寄りに位置しており、日間賀島、篠島は知多半島最先端の師崎からそれぞれ1.8km、3.0kmの距離にあり、佐久島は西尾市から4.7kmの距離にある。三島は近接しており、日間賀島から南2kmに篠島、北東3kmに佐久島が位置している。（図1）

面積は、佐久島1.73km²、日間賀島0.77km²、篠島0.94km²である。最高標高地点は、佐久島38.0m、日間賀島30.2m、篠島49.1mであり、三島とも比較的起伏に富んだ丘陵地であり、自然林も多く残っている。

気候は、年平均気温が16℃前後と温暖であり、結氷、降霜は少なく、降雪もほとんど見

¹ 離島振興対策実施地域

主務大臣が離島振興法第2条に基づき国土審議会の意見を聴いて指定する離島の全部又は一部の地域で、この地域の振興に必要な事業の実施に要する費用について、国の負担又は補助の割合の嵩上げ措置等が講じられる。

² 一色町、日間賀島村、篠島村

一色町：2011年4月1日に、旧西尾市、一色町、吉良町、幡豆町が合併して「西尾市」となった。

日間賀島村・篠島村：1961年6月1日に、両村と内海町、豊浜町、師崎町が合併して「南知多町」となった。

³ 離島振興計画

本県では、過去8期にわたり「愛知県離島振興計画」を策定している。第1期は5年間（1958年度～1962年度）、第2期（1963年度～1972年度）からは離島振興法の改正にあわせて10年間の計画となった。第1期から第5期までは都道府県の離島振興計画を束ねる形で、国も離島振興計画を策定してきたが、2002年7月の離島振興法の一部改正により、国の離島振興計画は策定しないこととなり、都道府県計画が唯一の法定計画となった。その後2013年4月の同法の一部改正により、計画の策定が任意となった。

られないが、台風や冬季の季節風によりかなり強い風が吹く。年間降雨量は、平均 1,500 mm 前後である。

海岸線は、三島いずれも侵食により海食崖が発達しており、風光明媚な三河湾の島しょ景観の中心として、三島ともに 1958 年 4 月に三河湾国定公園に指定され、自然環境や景観について適切な保全と利用が図られていることに加え、開発行為等は自然公園法による制限を受けている。

図 1 愛知三島の位置図及び航路図



(2) 人口・世帯数（国勢調査）

【人口】

三島の総人口は、3,430 人となっており、島別の人口は、佐久島 196 人、日間賀島 1,716 人、篠島 1,518 人である（表 1）。

なお、各島人口の過去最大値は、佐久島 1,634 人（1947 年）、日間賀島 2,788 人（1955 年）、篠島 3,785 人（1950 年）である。

【世帯数】

三島の総世帯数は 1,278 世帯（2.7 人／世帯）であり、佐久島 102 世帯（1.9 人／世帯）、日間賀島 593 世帯（2.9 人／世帯）、篠島 583 世帯（2.6 人／世帯）となっている（表 1）。三島の総世帯数は 1980 年の 1,562 世帯をピークに減少が続いており、1 世帯当たり世帯人

員も長期的な減少傾向にある。

【高齢化率】

65 歳以上の高齢化率（2020 年国勢調査）は、佐久島 55.4%、日間賀島 36.5%、篠島は 34.5%であり、特に佐久島は、県全体の高齢化率 25.4%の 2 倍以上と著しく高い状況にある（表 1）。

表 1 面積・人口・高齢化率・世帯数

島 名	市町名	面積	人口	高齢化率	世帯数
佐 久 島	西尾市	1.73 km ²	196 人	55.4%	102 世帯
日間賀島	南知多町	0.77 km ²	1,716 人	36.5%	593 世帯
篠 島	南知多町	0.94 km ²	1,518 人	34.5%	583 世帯
計	—	3.44 km ²	3,430 人	36.7%	1,278 世帯

※資料：西尾市、南知多町（面積）

国勢調査（2020 年 10 月 1 日現在）（人口、高齢化率、世帯数）

3 交通・通信

（1）本土との交通

本土と三島との定期航路は、主にそれぞれの属する自治体の本土側から運航されている。

佐久島へは一色漁港から西尾市営渡船が運航されており、日間賀島・篠島へは、師崎港（南知多町）と河和港（美浜町）及び伊良湖港（田原市）から、名鉄海上観光船株式会社による航路が運航されている。なお、佐久島と他の二島（日間賀島・篠島）との間に定期航路はない（図 2）。また、民間海上タクシー事業者は、日間賀島では 1 事業者⁴、篠島では 2 事業者が運航している。

佐久島への航路が発着する一色港には、名鉄東部交通株式会社のバスが運行されている。2010 年 4 月 28 日に、渡船場を一色さかな広場の隣接地に移転したことに伴い、航路距離・時間の短縮、駐車場の確保が図られたほか、名鉄東部交通株式会社のバス路線が延伸するとともに、運行本数が増便されるなど、公共交通によるアクセス向上が図られており、島民や観光客の利便性が高まった。なお、一色地区内の移動手段については、2025 年 4 月に従来のいっちゃんバスから相乗りタクシーに移行している。

日間賀島・篠島への航路が発着する師崎港には南知多町コミュニティバス（海っ子バス）が乗り入れているが、自家用車での観光客も多く、2005 年に南知多町が師崎港駐車場を整備した。また、河和港は、名鉄河和線河和駅と近接していて利便性が良い。二島から名古屋都心まで約 1 時間半で行けることから島民の生活圏は広域に及んでいる。

ア 佐久島航路

佐久島への市営渡船は、高速船が 7 便/日、一色漁港～佐久島西港間 9.4 km（佐久島東港間 13.0 km）を 16～23 分で運航している（表 2）。

2010 年に渡船場を一色さかな広場隣接地に移転したことにより、航路距離と時間が短縮されるとともに、駐車場の確保が図られ、さらに、バス路線の延伸で停留所「一色さかな広

⁴ 2025 年 7 月に日間賀島の海上タクシー事業者が 1 件廃業し、現在は 1 事業者のみとなっている。

場・佐久島行船のりば」を新設。2020 年には渡船発着時間とリンクしたバスの運行が増便されたことにより、島民や観光客の公共交通機関利用の利便性がさらに向上した。また、渡船場付近には、年間集客数 68 万人以上の一色さかな広場もあり、相乗効果により利用促進の影響を受けている。

また、島在住の中学生以下の渡船料や、本土の高校へ通う生徒の通学費に対しても助成を行っている（表 3）。

イ 日間賀島、篠島航路

日間賀島、篠島への航路は、師崎港から、高速船が 23～24 便/日、フェリーが日間賀島へ 5 便/日、篠島へ 6 便/日、河和港から高速船が 10 便/日、運航されている。

航路距離は、師崎～日間賀島間 4.8 km、日間賀島～篠島間 3.5 km、師崎～篠島間 5.0 km で、高速船はそれぞれの区間を 10 分、フェリーは 20 分で運航している。

河和港からの高速船は、河和～日間賀島間 13.5 km を 20 分、河和～篠島間（日間賀島経由）16.5 km を 30 分で運航している（表 2）。

これらの航路は、島民に不可欠な生活航路であることから、南知多町では、島民に対して航路運賃の助成を行っている。また、本土の高校へ通う生徒の通学費に対しても助成を行っている（表 3）。県は、町が行うこれら助成費の一部を、市町村土木事業費（離島航路）補助金により補助している。

なお、河和港から日間賀島、篠島を経由して渥美半島の伊良湖港へも名鉄海上観光船株式会社の航路があり、高速船が 3 便/日、運航されている。

図 2 定期航路、鉄道、バス路線図



表2 定期航路の状況

島別	区 間	事業者	距離	所要 時間	就航船舶名	1 日当 たり就 航回数 (往復)		運賃等
						トン数	定員	
佐久島	一色～ 佐久島	西尾市	km 西港 9.4 東港 13.0	分 西：16 東：23	第三さちかぜ 第二はまかぜ	t 19.0 19.0	人 118 120	回 7 大人 830 円 小児 420 円
日間賀島	師崎～ 日間賀島	名 鉄 海 上 観 光 船 株 式 会 社	4.8	10 *20	海鷗 11 海鷗 12 しらさぎ イーグル 3	19.0 19.0 19.0 45.0	92 93 95 94	23～24 *5 大人 800 円 (急行料含む) 小人 400 円
	河和～ 日間賀島		13.5	西：20 東：25	はやぶさ はやぶさ 2 はやぶさ 3 *しまゆり	61.0 68.0 64.0 276.0	125 138 127 93	10 大人 1,600 円 (急行料含む) 小人 800 円
篠島	師崎～ 篠島		5.0	10 *20				23～24 *6 大人 800 円 (急行料含む) 小人 400 円
	河和～ 篠島		16.5	30				10 大人 1,600 円 (急行料含む) 小人 800 円

*：フェリー

注：季節運航便を含む

注：2 島めぐり周遊券 河和～篠島・日間賀島～河和：大人 3,400 円、小人 1,700 円

師崎～篠島・日間賀島～師崎：大人 1,900 円、小人 950 円

資料：西尾市、南知多町（2025 年 4 月 1 日現在）

表3 離島交通費助成事業

区分	区間	助成額	割引券配布枚数
普通助成	日間賀島・篠島～師崎相互間 日間賀島・篠島～河和相互間	1 往復につき大人 380 円 1 往復につき小人 200 円	年間大人 20 枚 年間小人 18 枚
離島高校生修学 支援事業 (通学費補助)	日間賀島・篠島～師崎相互間 日間賀島・篠島～河和相互間	年額 上限 144,000 円	—

資料：南知多町（2025 年 4 月 1 日現在）

区分	区間	助成額	割引券配布枚数
普通助成 (運賃補助)	佐久島～一色相互間	1 人年 48 回を限度 (1 往復 1,000 円中学生 500 円小学生以下)	—
離島高校生修学 支援事業 (通学費補助)	佐久島～一色相互間	月額 上限 17,000 円	—

資料：西尾市（2025 年 4 月 1 日現在）

(2) 島内交通

ア 道路整備

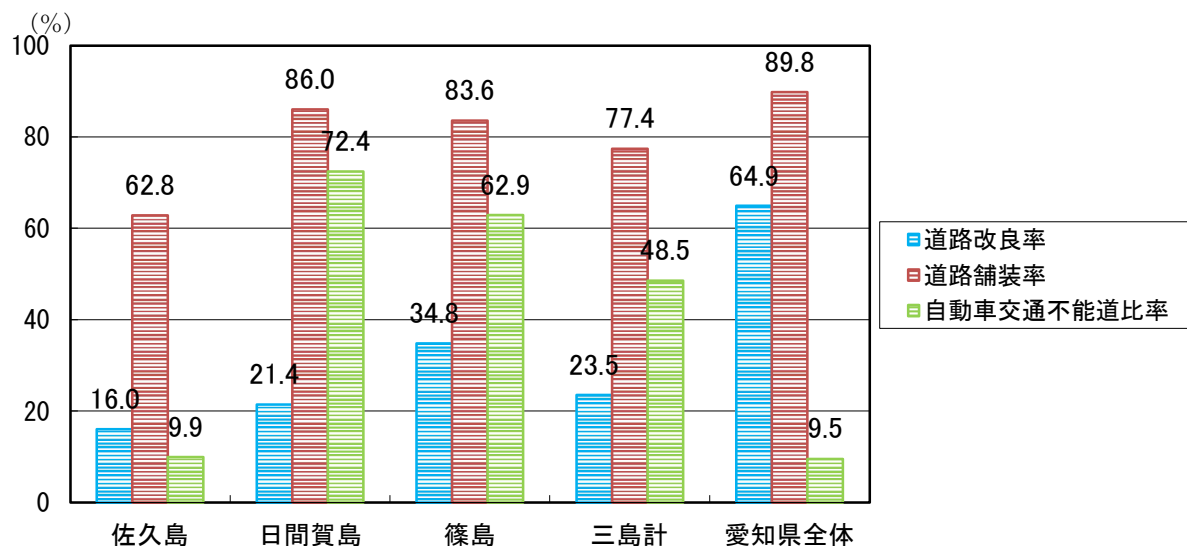
三島の島内道路（道路法に基づく道路）の実延長は、佐久島 16.4 km、日間賀島 17.6 km、篠島 14.5 km、合計 48.4 kmとなっている（2025 年 4 月 1 日現在）。

道路改良率⁵は 23.8%であり、県内市町村道全体の 64.9%より 41.1 ポイント下回っている。面積が狭い島では幹線道路以外の規格改良がなかなか進まない状況にある。

道路舗装率⁶は 77.4%であり、県内市町村道全体の 89.8%より 12.4 ポイント下回っている。島別では、佐久島 62.8%、日間賀島 86.0%、篠島 83.6%となっている。

自動車交通不能道比率⁷は 48.4%であり、県内市町村道全体の 9.5%を 38.9 ポイント上回っている。島別では佐久島 9.9%、日間賀島 72.4%、篠島 62.9%となっている。（表 4）。

表 4 島内道路の整備状況（市町村道）



資料：西尾市、南知多町（2025 年 4 月 1 日現在）

※愛知県全体は「道路統計年報 2024」（2023 年 3 月 31 日現在）

⁵ 道路改良率

規格改良済延長の実延長に対する比率。規格改良済とは、道路構造令（1970 年 10 月 29 日政令第 320 号）の規格に適合するもの。ただし、1971 年 3 月 31 日以前に改築された道路については、旧道路構造令（1958 年 8 月 1 日政令第 244 号）の規格に適合するもの。

⁶ 道路舗装率

舗装道延長の実延長に対する比率。舗装とは、簡易舗装を含むアスファルト系舗装とコンクリート系舗装。

⁷ 自動車交通不能道比率

自動車交通不能区間の実延長に対する比率。自動車交通不能区間とは、幅員、曲線半径、こう配、その他道路の状況により最大積載量 4 トンの普通貨物自動車が運行できない区間。

イ 交通手段

各島とも道路が狭いため、原動機付自転車と軽自動車が主な交通手段となっている（表5）。

佐久島では2021年度、11月8日～12月27日の期間、パワースクーター自動運転及び太陽光発電を活用した電動自動車の実証調査を実施し、2023年8月と2024年9月にはグリーンスローモビリティの導入に向けた実証調査を実施した。

日間賀島においても2019年度から国家戦略特区制度を活用し、西港を起点に島内4.6キロメートルを循環する、「ぐるりーバス」の運行が開始された。2021年度からは自家用有償旅客運送（交通空白地有償運送）の登録を行い、夏休み期間限定で運行を行っている。

篠島においては、三島で唯一乗合タクシーが営業されており、篠島漁港から海水浴場方面への足となっている。

◇ グリーンスローモビリティ実証実験走行（佐久島）

高齢化が進む島内の移動やレンタル自転車利用のオーバーツーリズムの問題を解決するため、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団協力のもと2023年と2024年にグリーンスローモビリティの実証実験走行を実施した。移動手段に車や原動機付自転車を利用していない島民には好評を得たほか、観光客向けに観光案内付きでの実験走行を行ったことで、「遠出が出来てよかった。」「案内があって島への関心が高まった」などの声を頂いた。今後の事業運営体制が課題ではあるが、導入に向けた検討を予定している。



◇ 「ぐるりーバス」の運行（日間賀島）

日間賀島は交通事業者の参入がないため、2002年頃から観光協会が夏場の繁忙期限定で無償のバスを運行していた。しかし、経費の増加や車両をリースしていたバス会社の車両整理により、2017年を最後に運行ができなくなった。多くの観光客が訪れる日間賀島にとって、交通利便性の低下は影響が大きいものである。

そこで、2019年度に国家戦略特区制度を活用し島内で自家用車での有償旅客運送による「ぐるりーバス」の運行が開始された。これにより、観光協会の費用負担が軽減され、持続可能な制度となり、日間賀島の観光サービス水準の向上につながっている。

運行主体：日間賀島観光協会

運行ルート：西港を起点とする島内4.6km

運行本数：1日13便

1乗車運賃：小人100円 大人200円

利用者数：7,219人（2025年度）



表5 車種別保有車両数

単位：台

	乗用車	軽自動車	二輪車	原動機付自転車	小型特殊自動車	合計
佐久島	28	103	1	61	1	166
日間賀島	359	553	27	771	2	1,353
篠島	306	658	12	572	20	1,262
合計	693	1,314	40	1,404	23	2,781

資料：愛知県、西尾市、南知多町（2025年4月1日現在）

※原動機付自転車に特定小型原動機付自転車（電動キックボード）を含む

（3）情報通信

郵便局は、三島に各1か所、日間賀島には簡易郵便局が1か所あり営業を行っている。郵便物の集配は、佐久島では委託により、日間賀島・篠島では本土側の郵便局員が行っている。

また、三島とも固定電話、携帯電話、テレビ、ラジオは本土と同様に利用可能である。デジタル通信網は、佐久島では2019年12月から、日間賀島、篠島では2020年4月から、民間企業により、光ファイバーを用いた光通信サービスが整備され、離島における情報格差が解消されるとともに、観光情報等の発信に活用されている。

佐久島では、公式サイトとしてホームページを独自に開設し、アートイベントや島民の活動を全国に情報発信している。このホームページは、島民有志による島おこしの活動団体「島を美しくつくる会」が中心となって情報収集し、編集に携わっている

また、日間賀島、篠島では地域情報伝達デジタル無線システム⁸が整備され、島内の情報伝達用に利用されている。さらに、デジタル防災行政無線を整備し、地震・風水害に関する情報や、避難指示などの緊急通報を迅速に伝達できるようになっている。

◇ 島を美しくつくる会（佐久島）

島民の自主的かつ創意あふれる活動を通して、自然、風土、歴史、産業といった佐久島固有の資源を発掘・研磨し、島の活性化を推進することを目的に設立された任意団体。島外の人々とも協働しながら活動を推進し、関係人口に係る交流活動のサポートも担っている。



「三河湾の黒真珠」景観修復（黒壁運動）

⁸ 地域情報伝達デジタル無線システム

防災無線や地域のコミュニティ放送に利用され、必要な情報や、安心安全のための情報をいち早く住民に伝達することができるシステム

4 産業

(1) 産業構造

三島の産業別就業者数は、飲食店・宿泊業を中心に第3次産業が最も多く、総就業者数1,850人のうち846人(45.7%)を占めている(表6、参考資料8)。

第1次産業の就業者数は713人(38.5%)で、そのほとんどが漁業就業者(712人)だが、漁業就業者数は2015年時点の817人から105人減少している。

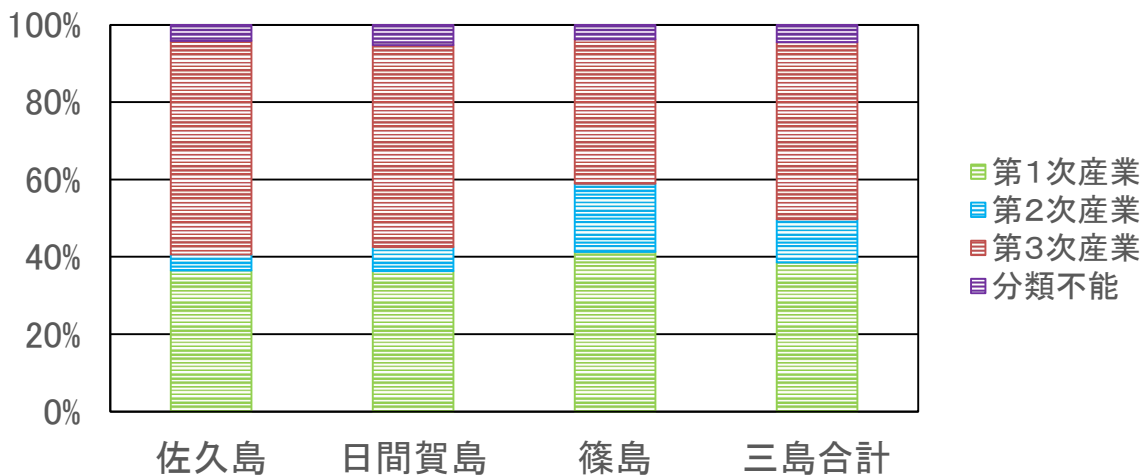
第2次産業の就業者数は207人(11.2%)で、2015年時点の163人から44人増加している。

島別では、佐久島は、第1次産業就業者が35人(36.5%)、第3次産業就業者数が53人(55.2%)となっており、2010年度時点で第1次産業と第3次産業の就業者数が逆転して以降、その傾向が続いている。

日間賀島では、漁業就業者が338人(36.3%)となっており、2015年時点の384人から46人減少している。

篠島では、塩干業などの水産加工業に従事するものが多く、第2次産業就業者(145人、17.6%)が三島で最も多い。

表6 産業分類別就業者数構成比(2020年)



資料：国勢調査(2020年10月1日現在)

(2) 主な産業

ア 水産業

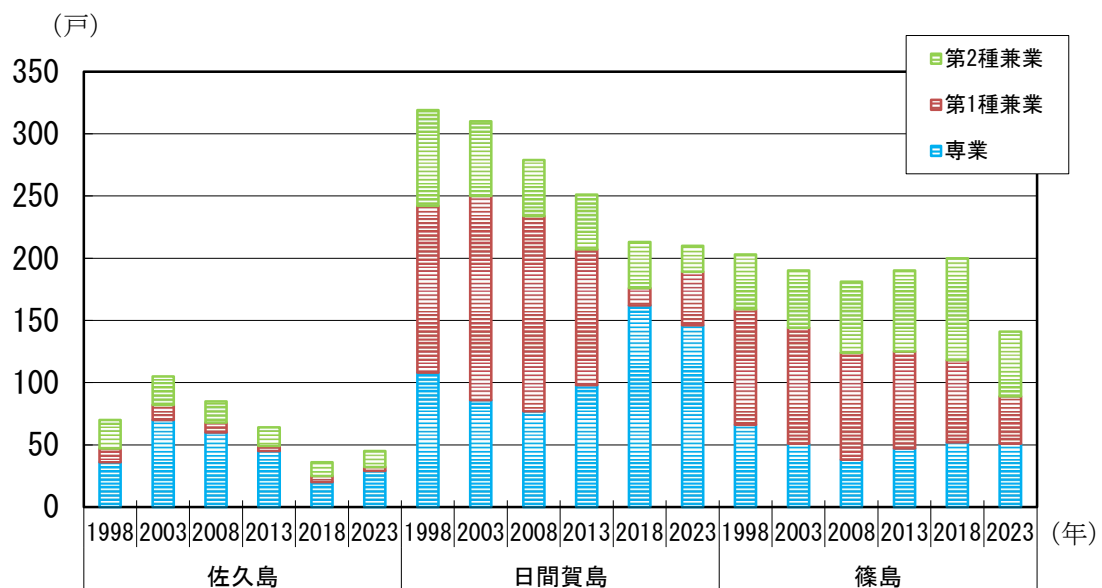
三島の基幹産業である水産業は、伊勢湾、三河湾及び渥美外海を主な漁場とする船びき網、刺網、はえ縄等の漁船漁業と、のりの養殖、あさりの採貝などが中心である。

漁業経営体のほとんどが個人経営体である。2023年漁業センサスにおける個人経営体数は396(三島計)であり、2018年比で53経営体(11.8%)が減少している。

専業・兼業⁹別では、専業の経営体数が 226（2018 年比で 8 経営体、3.4%の減少）、第 1 種及び第 2 種兼業の経営体数が 170（2018 年比で 45 経営体、20.9%の減少）となっている。島別の専業の経営体数は、佐久島 29、日間賀島 146、篠島 51 であり、佐久島は、2003 年に 1998 年比で 34 増加し、その後減少していたが、2023 年は 2018 年比で 9 増加している。日間賀島は、2008 年に 1998 年比で 31 減少し、2013 年、2018 年と増加していたが、2023 年は 2018 年比で 16 減少している。篠島は、2008 年に 1998 年比で 28 減少し、2013 年、2018 年と増加していたが、2023 年は 2018 年比で 1 減少している（表 7）。

漁業形態は、佐久島では、ほとんどがあさり漁に従事しており、日間賀島、篠島では、しらす等を対象とした船びき網等が主体の漁船漁業やのり等の養殖等が行われている。佐久島で水揚げされたあさは、西三河漁業協同組合佐久島支所を通じて本土側の仲買業者に卸されている。日間賀島では、島内消費や加工原魚を除き漁獲物の多くが本土側の片名魚市場卸売市場へ陸揚げされている。篠島では、漁獲物の大半が島に陸揚げされ塩干品等に加工されている。しらすは漁港単位で漁獲量日本一と言われており、新たな特産品を目指してカキの養殖も行っている。

表 7 漁業経営体数¹⁰（個人）の推移



資料：漁業センサス（2023 年 11 月 1 日現在）

⁹ 専業、第 1 種兼業、第 2 種兼業

専業は過去 1 年間の収入が自営漁業からのみの世帯、第 1 種兼業は過去 1 年間の収入が自営漁業以外の仕事からもあり、かつ、自営漁業からの収入がそれ以外の仕事からの収入の合計よりも大きかった世帯、第 2 種兼業は過去 1 年間の収入が自営漁業以外の仕事からもあり、かつ、自営漁業以外の仕事からの収入の合計が自営漁業からの収入よりも大きかった世帯をいう。

¹⁰ 漁業経営体

過去 1 年間に利潤又は生活の資を得るために、生産物を販売することを目的として、海面において水産動植物の採捕又は養殖の事業を行った世帯又は事業所をいう。ただし、過去 1 年間における漁業の海上従事日数が 30 日未満の個人経営体は除く。

(ア) 水産物の陸揚量等

2023 年の陸揚量は 3,356 t、陸揚金額は 18 億 29 百万円であった。島別では、篠島が陸揚量 (2,438 t)、陸揚金額 (13 億 69 百万円) とともに三島で最も大きい (表 8)。

2022 年の魚種別陸揚量は、佐久島ではあさり、なまこが、日間賀島・篠島ではしらす、のりが多い (表 9)。

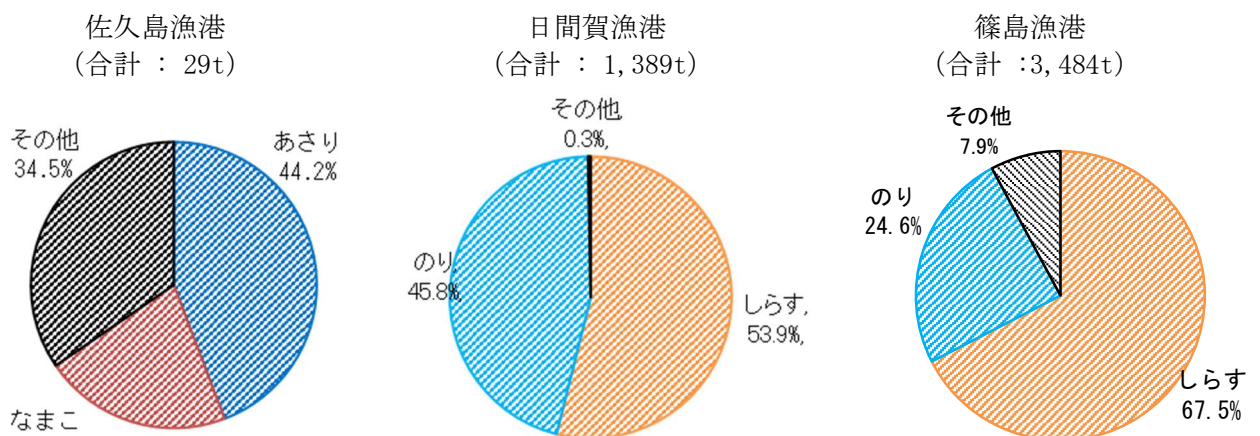
表 8 陸揚量・陸揚金額 (属地集計)

	陸揚量 (t)			陸揚金額 (百万円)		
	海面漁業	海面養殖業	計	海面漁業	海面養殖業	計
佐久島	29 (288)	0 (0)	29 (288)	45 (351)	0 (0)	45 (351)
日間賀島	753 (2,538)	636 (650)	1,389 (3,188)	560 (2,635)	309 (311)	869 (2,946)
篠島	2,565 (2,569)	919 (919)	3,484 (3,488)	2,035 (2,041)	406 (406)	2,441 (2,447)
合 計	3,347 (5,395)	1,555 (1,569)	4,902 (6,964)	2,640 (5,027)	715 (717)	3,355 (5,744)

資料：2023 年漁港の港勢調査、西尾市、南知多町 (2023 年)

注：() 内数値は属人集計

表 9 魚種別陸揚量 (属地集計)



注：1%未満の魚種はその他に計上

資料：2023 年漁港の港勢調査

(イ) 漁港

漁港区分は、佐久島漁港が第 2 種市管理漁港¹¹、日間賀漁港が第 2 種町管理漁港¹¹、篠島漁港が第 2 種県管理漁港¹¹ であり、基幹産業である水産業の基盤強化のため、漁港施設や水産関連施設の整備・拡充が順次進められている (表 10)。

¹¹ 第 2 種県管理漁港、第 2 種町管理漁港、第 2 種市管理漁港

第 2 種漁港とは、その利用範囲が第 1 種 (地元の漁業を主とするもの) よりも広く、第 3 種 (全国的なもの) に属さないものを言い、県 (市町) 管理とは当該漁港管理者が県 (市町) であることを指す。

表 10 漁港施設及び水産関連施設の現況

区分	種 類	佐久島漁港 (第 2 種市管理)	日間賀漁港 (第 2 種町管理)	篠島漁港 (第 2 種県管理)
基本施設	外かく施設	防波堤 (m)	1,522	1,642
		護岸 (m)	3,776	5,673
	けい留施設	岸壁 (m)	0	1,003
		物揚場 (m)	830	1,548
		船揚場 (m)	137	66
	水域施設	泊地 (m ²)	35,000	64,993
機能施設	臨港道路 (m)		716	4,516
	漁港施設用地 (m ²)		13,921	60,952
	荷捌所 (m ²)		—	1 か所 200
	製氷施設 (トン/日)		—	1 か所 20
	冷凍施設 (トン/日)		—	—
	冷蔵施設 (トン)		—	1 か所 103
	貯氷施設 (トン/日)		—	1 か所 45
	給油施設 (最大貯油能力 k1)		1 か所 50	12 か所 465

資料：漁港台帳 (2025 年 3 月 31 日現在)
2023 年漁港の港勢調査

イ 農業

佐久島では、1955年～1965年頃にかけて樹園地が造成され、温州ミカンの栽培が行われていたが、従事者の高齢化や後継者不足により現在は自家消費のみで出荷されていない。一方、2017年に遊休農地の有効利用と新たな特産品の開発を目指して、サツマイモを栽培する「サクのいもプロジェクト」が始まり、2019年度には、サクのいも、西尾市産コシヒカリを使った芋焼酎も発売され、数十年振りに、佐久島産サツマイモの出荷がされている。

日間賀島では、1970 年代に約 15 haの農地が造成され、オリーブ、ふき、梅などの栽培が試みられたが、病虫害の発生、潮風、土質、浅い耕土、農業用水の整備困難などにより、いずれも定着に至らず、営農意欲の減退と従事者の高齢化などから現在では自家消費的にわずかに耕作されているに過ぎない。

篠島も同様であり、畑が 8 ha程度あるものの、一部が家庭菜園として使われている他、多くは山林化している。

現在は、三島とも農業経営体は存在せず、農地の多くは遊休農地となっている (表 11)。

なお、佐久島では遊休農地対策として、離島では全国初となる宿泊滞在型農業体験施設 (クラインガルテン) を 2012 年に開園し、利用者による遊休農地の活用と、農業を通じた移住・定住人口の拡大に取り組んでいる。

表 11 耕地面積及び農業経営体数等

単位：ha（面積）

島名	総面積	農振面積	耕地面積				耕地化率	農業経営体数	森林面積			
			総数	田	畑	樹園地			総数	民有林		うち人工林
										うち人工林	うち人工林	
	A		B				B/A					
佐久島	173	0	65	6	59	0	37.6%	—	56	3	56	3
日間賀島	77	0	18	0	18	0	23.4%	—	3	1	3	1
篠島	94	0	8	0	8	0	8.5%	—	23	9	23	9
三島合計	344	0	98	6	92	0	28.5%	—	82	13	82	13

資料：西尾市、南知多町（2025 年 4 月 1 日現在）

※農業経営体数は農林業センサス（2020 年 2 月 1 日現在）

◇ 佐久島クラインガルテン（佐久島）

離島では全国初となる宿泊滞在型農業体験施設として、2012 年に開園。約 70 m²の菜園付きラウベ（宿泊施設）が 10 棟並んでおり、利用者は休日等を利用して自分の畑で野菜づくりを楽しんでいる。

また、2020 年には全棟にインターネット光回線を整備し、2021 年よりラウベを個人向け以外に法人向けにも貸出利用を開始したことで、「仕事」と「休暇」が両立可能なワーケーションなどで活用し、心身のリフレッシュや仕事の生産性が高まるよう島時間の提供を行っている。

なお、管理棟の屋根には太陽光発電用の設備が設置されており、再生可能エネルギーの地産地消にも努めている。



ウ 商工業等

令和 3 年経済センサス - 活動調査では、事業所数・従業者数ともに観光関連の「宿泊業、飲食サービス業」が最も多く、続いて「卸売業・小売業」、「製造業」の順になっている（表 12）。

製造業は、主に篠島における水産加工業（シラス、イカナゴの塩干業等）であるが、小規模な事業所が多く、原材料の漁獲量により経営が左右されやすい。

表 12 製造業、卸売業・小売業の状況

単位：事業所数（事業所）、従業者数（人）

	製造業		卸売業・小売業		宿泊業、 飲食サービス業	
	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数
佐久島	-	-	6	11	21	53
日間賀島	5	52	32	157	69	401
篠島	15	195	31	100	39	150
合計	20	247	69	268	129	604

資料：令和 3 年経済センサス - 活動調査（2021 年 6 月 1 日現在）

5 生活環境

（1）水道

佐久島では、1960 年から送水船による給水が開始された。日間賀島、篠島では、1962 年に本土からの海底送水管（口径 75 mm）が布設され、師崎経由での愛知用水からの送水が始まった。

その後、生活水準の向上、ノリ養殖等の進展、観光客の増大などに伴う水需要の増加に対応するため、1972 年に、南知多町及び一色町により愛知三島水道企業団が設立され、1973 年には海底送水管（口径 150 mm）が日間賀島経由で、篠島、佐久島にそれぞれ布設され、三島への送水を開始した。

その後、施設の老朽化に伴う漏水等により送水量が低下して慢性的な水不足の状態となったことから、1997 年度から 2000 年度までの 4 年間で、師崎～篠島間の海底送水管の布設替等を行った。また 2010 年度に師崎～日間賀島間の送水管 1 本（南ルート、口径 150 mm）の布設替を行った。現在は、師崎～日間賀島間 2 本（口径 150 mm）、師崎～篠島間 1 本（口径 200 mm）、日間賀島経由で佐久島へ 1 本（口径 150 mm）の送水管が布設されており、水道普及率は 100%である（表 15）。

なお、1972 年から愛知三島水道企業団が運営してきた三島の水道事業は、2001 年度に南知多町水道事業へ統合された。海底送水管を始め水道施設の管理運営などに多額の経費を要するため、三島の水道料金と本土との料金格差は大きな課題であったが、給水区域内の安全で平等な供給を目指し、2005 年度の段階的な値下げを経て、2008 年度から本土と同一料金となった。また、老朽化した海底送水管の更新のため、2024 年度から師崎・日間賀島間北ルート及び日間賀島・佐久島間 2 本の布設替えを実施している。

表 15 水道事業の現況

水道事業者	給水区域				給水人口	水道普及率
南知多町	日間賀島、篠島、佐久島				3,222 人	100%
年間給水量 (2023 年度)	1 日当たり給水量				稼働率	一般家庭の 1 か月平均使用 量平均計画
	最大計画	平均計画	最大	平均		
592 千 m ³	4,300 m ³	2,150 m ³	3,224 m ³	1,623 m ³	75.0%	17.8 m ³ /月

資料：南知多町（2025 年 3 月 31 日現在）

(2) エネルギー供給

三島の電力は、本土から海底送電ケーブルを通じて送電されている。1947 年に、5 kV のケーブルにより、南知多町片名から日間賀島を経由し、篠島、佐久島に送電が開始された。以降、生活水準の向上、観光客の増大などによる電力需要の増加に応じてケーブルも増設され、現在は、本土から日間賀島へ 33 kV で送電され、日間賀島内及び篠島、佐久島へは 6 kV に下げて日間賀島から送電されている。一般受電化率は三島ともに 100% である。

ガソリン等の燃料については、各島とも本土から海上輸送されており、2011 年度からは輸送コストによる本土とのガソリン価格差を緩和するため、国の助成制度を受け、ガソリン価格の低廉化が図られている。

(3) ごみ処理

可燃ごみは、三島とも島内に設置されたバッチ式焼却炉で焼却処理してきたが、ダイオキシン類対策特別措置法の定める排出基準をクリアできないことから、2002 年 10 月以降、佐久島は西尾市の焼却施設へ搬出し、処理している。日間賀島と篠島では知多南部衛生組合の委託を受けた事業者が収集し、それぞれ本土側施設へ搬出して処理している。

資源（びん、缶）及び不燃ごみは、佐久島では月 1 回市が、日間賀島、篠島では月 2 回知多南部衛生組合の委託を受けた事業者が収集し、本土側施設へ搬出して資源化处理している。

粗大ごみは、佐久島では月 1 回市が、日間賀島と篠島では月 1 回知多南部衛生組合の委託を受けた事業者が収集し、本土側施設へ搬出して処理している。

なお、三島とも観光地としての良好な環境づくりのため、コミュニティ活動等による島内美化運動が行われている。

(4) し尿処理等

し尿処理については、三島とも早くから浄化槽が普及しており、2025 年 4 月 1 日現在の水洗化率¹²は、佐久島 100%、日間賀島 99.3%、篠島 89.5% である。

日間賀島・篠島では、し尿は町の委託を受けた事業者が収集運搬し、浄化槽汚泥は許可業者が収集、町の委託を受けた事業者が運搬し、知多南部衛生センターで処理している。佐久島では、本土の処理業者が収集運搬し、西尾市浄化センターで処理している。

また、生活排水が海域に流れ込んでいたため、日間賀島では、1996 年度から漁業集落環境整備事業（漁業集落排水）に着手し、2003 年 8 月から日間賀島浄化センターが供用開始され、生活環境の改善に成果を上げている。篠島では、地域の実情に応じ、個別処理である合併処理浄化槽の設置促進を図り、生活排水の対策を進めている。

6 医療・福祉

(1) 保健・医療

佐久島では、市営診療所（へき地診療所）が、国及び県の助成を受けて運営されており、2025 年度は、県から派遣された自治医科大学の卒業医が、週 3 日の診療を行っている。

¹² 水洗化率

水洗化率＝水洗化人口÷計画処理区域内人口

日間賀島は、町所有の施設に個人開設の診療所が設置されており、週4日で診療が行われている。歯科は常駐の民間医師が週5日診療を行っている。

篠島は、町所有の施設に知多厚生病院附属篠島診療所（へき地診療所）が設置されており、週5日で診療が行われている。歯科は民間医師により週3日の診療がある。（表16）

救急搬送については、三島とも、海上タクシーが使用されており、佐久島では西尾市が、日間賀島、篠島では知多南部消防組合が搬送費を助成し、被搬送者の負担軽減が図られている。また、重症の救急患者の搬送は、2002年から愛知医科大学病院において運航されているドクターヘリを活用しており、2024年からは藤田医科大学病院においてもドクターヘリ運航事業が開始され、県内医療機関への迅速な搬送と、到着までの間の救命医療が可能となっている。

表 16 医療施設等の現況

単位：医療施設（施設）、医療従事者（人）

島名	医療施設			医療従事者						
	診療所	病床数	歯科診療所	医師	歯科医師	看護師	歯科衛生士	保健師	助産師	搬送施設等
佐久島	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0
日間賀島	1	0	1	1	1	1	0	0	0	0
篠島	1	0	1	1	1	3	0	0	0	0
合計	3	0	2	3	2	5	0	0	0	0

資料：西尾市、南知多町（2025年4月1日現在）

（2）高齢者福祉

三島の高齢化率（65歳以上）は、佐久島が55.4%、日間賀島36.5%、篠島34.5%である。また、一般世帯のうち一人暮らし高齢者世帯の割合は、佐久島が33.3%、日間賀島15.5%、篠島15.1%となっている。65歳以上のみの世帯数のうち一人暮らし高齢者世帯の割合は、佐久島・日間賀島が半分以上、篠島は半分近くを占めている（表17）。

高齢者福祉対策として、佐久島では、高齢者の健康で自立した生活を支援するため、開発総合センターにおいて、閉じこもりや要介護状態となることを予防するためのいきいきサービスを実施し、介護予防に努めている。

日間賀島では、民間による通所介護（デイサービス）事業所が運営されている。また老人憩いの家が日間賀島に2か所（うち、町所有は1か所）、篠島に1か所設置され、健康増進やレクリエーションの場として利用されている。なお、三島ともに医療・介護サービス利用者の負担軽減を図るため、医療・介護サービス事業者に対する海上交通費等の助成が行われている。

表 17 65 歳以上のみの世帯数

単位：世帯

	世帯数	65 歳以上のみの世帯数	
			うち一人暮らし
佐久島	102	55 (53.9%)	34 (33.3%)
日間賀島	593	171 (28.8%)	92 (15.5%)
篠島	583	185 (31.7%)	88 (15.1%)
三島合計	1,278	411 (32.2%)	214 (16.7%)

資料：国勢調査（2020 年 10 月 1 日現在）

（3）児童福祉

児童福祉施設として、佐久島には市立保育施設（認可外）、日間賀島には町立保育所、篠島には私立保育所がそれぞれ 1 か所ずつ設置されている。

佐久島では、2018 年度に休園となったが、2022 年 4 月に再開し、2 名が通園している。日間賀保育所では 26 名、篠島保育園では 29 名が通園している（2025 年 4 月 1 日現在）。

◇ 日間賀島ちびっこひろば（日間賀島）

母親の子育てに関する不安を少しでも解消することを目的とし、2009 年に子育て支援センター「ちびっこひろば」を開設した。この「ちびっこひろば」は、無償で利用することができ、母親同士のコミュニケーションの場となっている。



7 教育・文化

（1）学校教育

佐久島では、2003 年度から佐久島校区以外の児童・生徒を受け入れる小規模特認校制度（通称「しおかぜ通学」）を実施しており、2019 年 4 月には、小・中学校を統合し、豊かな自然環境の中で一人一人に合った指導が実施できる義務教育学校として「佐久島しおさい学校」が新設された。2025 年度は前期課程の児童 13 人、後期課程の生徒 8 人であり、そのうち前期課程の児童 11 人、後期課程の生徒 4 人が本土から通学（渡船運賃は市が負担）している。

日間賀島は小学校が 1 校、篠島は小・中学校それぞれ 1 校設置されている。2025 年 4 月 1 日現在、日間賀島が小学生 83 人、中学生 42 人、篠島が小学生 75 人、中学生 38 人である。2006 年度に篠島小学校が、中学校と同一の敷地内に移転したことにより、小中隣接型の教育が実施されている。日間賀島にも中学校が設置されていたが、2023 年 3 月に閉校し、日間賀島の中学生は半島側にある南知多中学校へ、高速船と通学用の専用バスを利用して通学している。

高等学校は、日間賀島と篠島に県立内海高等学校の分校が設置されていたが、生徒数の減少により、日間賀島分校は 2000 年度末に、篠島分校は 2003 年度末に閉校となった。現在、

三島に高等学校は設置されておらず、各島とも本土側の高校への渡船による通学が常態化している。

学校体育施設については、佐久島では、総合型地域スポーツクラブの拠点施設として学校の運動場を活用するため、2004 年に屋外運動場の夜間照明施設が整備された。篠島では、1996 年度に小学校のプール施設が整備された。プールの授業については、佐久島では本土側の小学校で実施し、日間賀島では篠島小学校のプールを利用して実施されている。

なお、廃校となった県立内海高等学校日間賀島分校の体育館及び篠島分校の管理棟・体育館は、それぞれ小・中学校の施設として活用されている。

また、郷土学習の一環として、日間賀島において島の将来について議論する日間賀サミットを実施しているほか、篠島においては、継続的な浜の清掃活動（篠島ウミガメ隊）や、郷土料理についての学習、島の歴史や史跡に関する学習活動を実施した。

表 18 学校の状況

区 分		佐久島	日間賀島	篠島	三島合計
小学校	学校数		1	1	2
	教(職)員数 (人)		16(2)	16(2)	32(4)
	学級数		8	7	15
	児童数 (人)		83	75	158
	建物延面積 (100 ㎡)		34	21	55
中学校	学校数			1	1
	教(職)員数 (人)			18(2)	18(2)
	学級数			5	5
	生徒数 (人)			38	38
	建物延面積 (100 ㎡)			28	28
義務教育 学校	学校数	1			1
	教(職)員数 (人)	16(1)			16(1)
	学級数	5			5
	生徒数 (人)	21			21
	建物延面積 (100 ㎡)	21			21

資料：愛知県教育委員会（2025 年 5 月 1 日現在）

注：教員数には兼務者を含み、職員数には含まない。

（2）生涯学習

佐久島では、文化交流施設「弁天サロン」において、観光資源の活用を目指したアートプロジェクトを通して島民が観光客、アーティストと交流するワークショップなどが開催されている。また、総合型地域スポーツクラブ「スポーツクラブさく」が中心となり、島民主体の生涯スポーツ活動が行われている。

日間賀島、篠島では、2021 年度から「第 7 次南知多町総合計画」に基づき、教育・文化・スポーツの基本目標「地域で育むひとづくり」における教育施策として、「郷土愛、つながりを育む文化・スポーツ」を掲げ、町民と行政、関係機関が一体となって協働型で生涯

学習を推進している。

生涯学習施設として、日間賀島には公民館が、佐久島と篠島には離島開発総合センター¹³が設置されており、島民の地域活動や文化活動に活発に利用されている。また、三島では、学校体育施設がスポーツ登録団体に開放され、様々な活動に利用されている。

(3) 文化の振興

三島には、佐久島の八劔神社や篠島の帝井などの文化財や史跡を始め、貝塚、古墳、化石など多くの歴史・文化資産が残されており、出土品等については、佐久島弁天サロン、島の駅 SHINOJIMA 等の施設に展示・保存されている。また、佐久島の「八日講祭」、日間賀島の「ほうろく祭り」、篠島の「おんべ鯛奉納祭」など貴重な伝統文化も継承されている。

新たな文化活動では、佐久島において、アートをテーマとするイベントやアーティストによる展覧会などが行われている。

8 消防・防災、国土保全

(1) 消防・防災

三島では、人家が密集し道路も狭く、火災は大惨事に結びつく恐れがあることから、迅速な初期消火に向け、消防団員や消防職員の指導の下に毎年消火訓練を実施し、島民の防火意識の向上、徹底に努めるとともに、消防体制、消防施設の整備を推進している（表 19）。

佐久島及び日間賀島では2003年に、篠島では2004年に自主防災組織を立ち上げ、防災倉庫や避難所資材等、防災資機材を順次整備している。

災害対策としては、2011年の東日本大震災を受け、津波災害時の一次避難場所として、佐久島は佐久島開発総合センター（標高7.8m）を指定し、佐久島しおさい学校¹⁴（標高7.0m）は避難の長期化、避難者の増加に対応するため二次開設として指定した。日間賀島は旧日間賀中学校¹⁵（標高22.6m）、篠島は篠島防災センター¹⁶（標高25.0m）などを津波一時避難場所に指定した。このほか、島民が適切な避難活動をとることができるよう、ハザードマップの配布や防災訓練を実施している。

また、道に不案内な観光客のために、2011年7月、日間賀島・篠島に128箇所の津波避難経路看板¹⁷を設置した。2013年2月には、日間賀島・篠島に新たに各2箇所（計4箇所の津波避難指示案内板¹⁸）を設置するとともに、日間賀保育所の園庭内に耐震防火水槽1基を設置した。2014年度においては津波一時避難場所に避難の目標となる避難場所表示看板¹⁹（太

¹³ 離島開発総合センター

離島における産業及び社会教育の実施、生活改善の推進、保健福祉の増進、生活便益の確保並びに離島文化の保存保護等に資するため、国及び県の補助を受けて町が建設した多目的総合施設。

2023年度利用実績 佐久島：711人、篠島：6,975人

¹⁴ 当時は、佐久島小・中学校

¹⁵ 当時は、日間賀中学校

¹⁶ 当時は、篠島小学校東山グラウンド

¹⁷ 津波避難経路看板
避難経路を示したもの。

¹⁸ 津波避難指示案内板
地区別防災マップを拡大したもの

¹⁹ 避難場所表示看板

陽光発電式発光サイン)を全7箇所に設置するとともに、情報伝達手段のさらなる拡充のため、同報デジタル防災行政無線を整備し、全7箇所に屋外拡声子局(うちモーターサイレン付3基)を設置した。佐久島については、2021年度に5箇所の津波避難誘導看板を設置し、避難場所への避難路を明示している。

また、離島では災害時に孤立する恐れがあることから、孤立した場合にも役場との連絡調整や島内への情報伝達が正確かつ円滑に進むよう、日間賀島防災センター(2016年3月竣工)及び篠島防災センター(2017年3月竣工)を建設した。常備消防においても佐久島に2016年度より西尾市消防署佐久島分遣所を設置、現在は24時間体制で消防職員1名が常駐している。日間賀島及び篠島には、2017年度より知多南部消防組合日間賀島分遣所及び篠島分遣所が設置されている。

表 19 消防施設等の整備状況

区分			佐久島	日間賀島	篠島	三島合計
消防団員(人)			40	61	61	162
消防機械 (台)	小型動力ポンプ		4	6	6	16
	小型動力ポンプ積載車		3	4	4	11
	消防広報車		1	2	2	5
消防水利	消火栓(本)		20	20	16	56
	防火水槽 (箇所)	40m ³ 以上	6	12	9	27
		40m ³ 未満	2	0	0	2

資料：西尾市、南知多町(2025年4月1日現在)

注：消火栓は水利基準以上のもの

(2) 国土保全

ア 海岸保全

三島の海岸線は、佐久島 11.8 km、日間賀島 6.6 km、篠島 8.2 km、合計 26.6 kmであり、内 20.4 kmが海岸保全区域に指定されている。

佐久島と日間賀島の海岸は水成岩、篠島は領家帯花崗岩からなり、波浪による侵食が著しく、1953年の13号台風、1959年の伊勢湾台風の際には、高潮による護岸の決壊などにより多数の負傷者や家屋倒壊等の被害が発生したことから、海岸保全施設整備が継続して実施されている。

なお、自然環境や景観の保護を求める声も多く、自然との調和に配慮した海岸保全対策が必要とされている。

イ 森林保全、治山等

森林面積は、佐久島 56 ha、日間賀島 3 ha、篠島 23 ha、合計 82 haである。

三島では、山やがけが崩れる恐れのある箇所については、治山事業を実施し森林の保全が図られている。

また、佐久島では防風、防潮機能などに重要な役割をもつ松林を松くい虫の被害から守るため、森林病虫害防除事業が実施されている。

避難場所を表示したもの(夜間ソーラーで点灯する。)

ウ 自然環境の保全

愛知三島は三河湾国定公園に指定されており、自然環境の適切な保全と利用が図られていることから、本土では見られなくなった海浜植物や絶滅危惧種も見ることができる。一方で、海岸に流木やごみが漂着することから、住民やボランティアによるごみ拾い等が行われている。

また、佐久島においては、藻場の再生を行うためアマモの移植等の取組を実施している。

◇ 漂着ごみの回収（各島）

佐久島においては、島を美しくつくる会主催で島内外の方が参加する漂着ごみ回収のボランティア活動を実施したほか、不定期で大学生や小中学生が海岸清掃活動を実施している。また、2023 年度からは、名古屋芸術大学とのコラボプロジェクト「海のごみ島だから見えるコト！わかるコト！！」を開催し、海洋ごみの発生抑制対策事業としてアート作品展示による海ごみの啓発活動を実施している。

日間賀島、篠島においても、定期的に海岸清掃を実施し海岸及び自然環境の保全に努めている。特に篠島では、2011 年夏にウミガメが前浜に産卵したことを契機に、「ウミガメが産卵に来る美しい浜を目指して」の合い言葉の下、篠島小学校全校児童参加による「篠島ウミガメ隊」が結成され、登校時の前浜の清掃活動等の活動を実施している。



篠島ウミガメ隊

◇ 藻場の再生活動（佐久島）

2002 年からスタートした、アマモを増やして藻場を再生する活動は、「魚やアサリがいっぱい捕れるよう、佐久島の海をもっと豊かにしたい」という、島の 1 人の中学生の願いで始まった総合学習が、2006 年からは「佐久島しおさい学校（当時佐久島中学校）」「島を美しくつくる会」「西三河漁業協同組合佐久島支所」が協力して活動を実施。島民や島外ボランティアに広がり現在まで続いている。

また、2023 年からは日本郵船株式会社、旭運輸株式会社など、この活動に賛同した協力会社から、企業版ふるさと納税等での資金援助と、人材面での協力を得ている。

なお、この活動は、2025 年 1 月には藻場などで吸収された CO₂ 吸収量を認証・取引できるブルーカーボンクレジット制度に認証され、保全活動への活動資金の調達もできるようになった。



アマモ場



9 観光・レクリエーション

三島は、三河湾国定公園の島しょ景観の中心にあり、豊かな自然や独自の歴史文化などの魅力ある地域資源に恵まれていることから、毎年多くの観光客が訪れ、観光業が水産業と並ぶ基幹産業となっている。

2024 年において、観光地点等入込客数（観光入込客（観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者）の総数。）は約 33 万 2 千人であった（佐久島約 6 万 8 千人、日間賀島約 14 万人、篠島約 12 万 4 千人）（表 13、参考資料 9）。

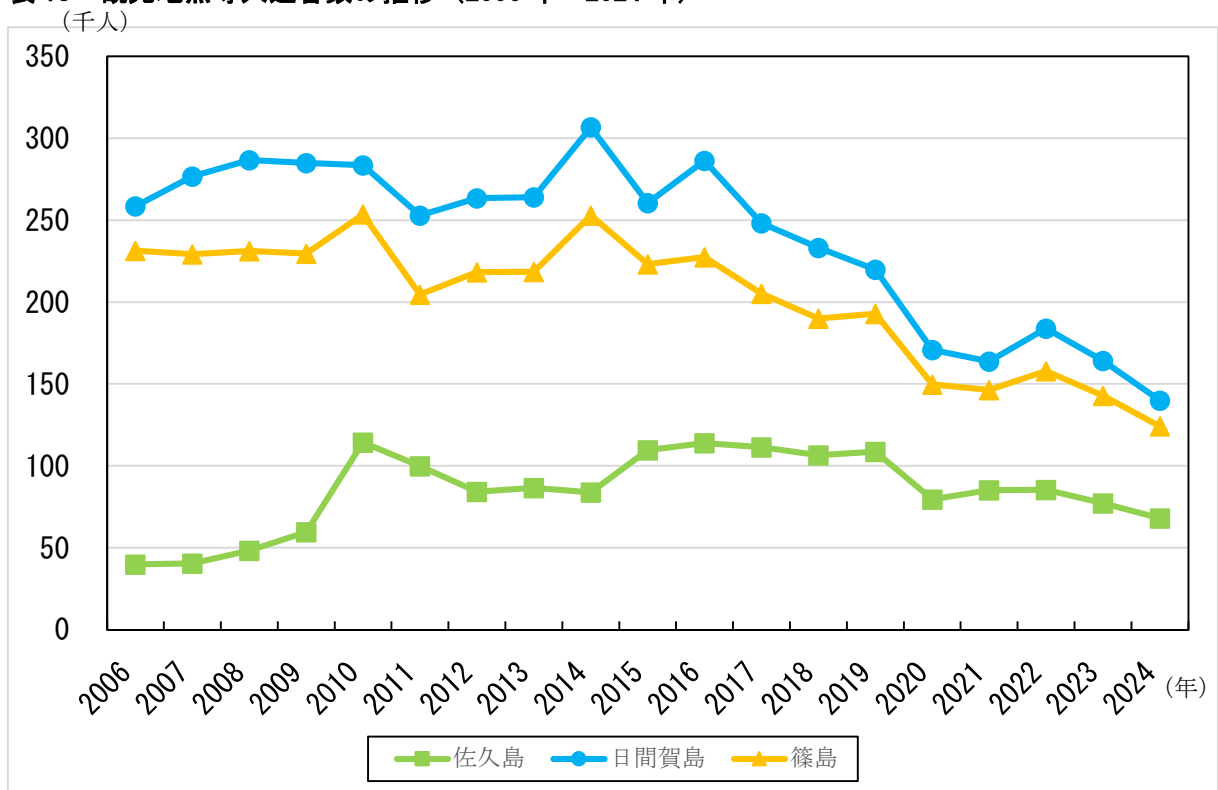
観光客は夏季に集中していることから、日間賀島、篠島では、島内環境整備や観光施設の充実を図るとともに、釣りや海水浴、海浜レジャー・スポーツ、体験漁業、夏場の鰐料理・冬場のフグ料理、知多四国八十八ヵ所霊場めぐりや、篠島の島弘法などの史跡・名勝、佐久島のアート作品などの恵まれた地域資源を活かし、通年型の観光地を目指した取組が続けられている。

体験漁業については、日間賀島では観光協会、篠島では民宿組合のグループが中心となり、キス網漁や底引網漁など多様なプログラムを用意して集客に力を入れている。また、多くの旅館や民宿の料理人がフグの処理師免許を取得し、質の高いフグ料理を提供することで、課題であった冬季の観光客誘致に成果を上げている。

三島の観光客の受入体制は、2025 年 3 月末時点で旅館・ホテルが 27 軒、民宿が 59 軒あり、収容能力は 1 日約 2,700 人である（表 14）。

民宿は、1974 年頃から急速に増加したが、近年は、減少傾向にある。

表 13 観光地点等入込客数の推移（2006 年～2024 年）



資料：愛知県観光コンベンション局観光振興課提供データをもとに地域振興室作成

表 14 宿泊施設等の状況

	宿泊能力 (上段：旅館・ホテル、下段：民宿)		主な観光資源
	軒数	宿泊収容人数	
佐久島	2	60	海水浴、海釣り、黒壁の家並、散策道、佐久島トレイルエコウォーキング、佐久島トレイルラン 2025+エコ、佐久島太鼓フェスティバル、八日講祭（1 月 8 日）、弁天サロン、アートイベント&展覧会（祭りとアートに出会う島 佐久島体験）、島弘法巡り
	4	140	
日間賀島	14	874	海水浴、海釣り、潮干狩り、知多四国八十八ヶ所霊場巡り、自然体験漁業（4～10 月）、海と空の自然学校（春季）、キッズアドベンチャー（夏季）、ほうろく祭り（7 月第 2 土曜日）、タコ祭り（8 月 12 日）、日間賀島資料館、イルカ介在療法
	38	888	
篠島	11	356	海水浴、海釣り、潮干狩り、帝井・清正の枕石などの旧跡、万葉の丘・歌碑公園、知多四国八十八ヶ所霊場巡り、大名行列（1 月 3・4 日）、篠島つり天国、祇園祭・野島祭（7 月第 2 土・日）、おんべ鯛奉納祭（10 月 12 日）、島弘法巡り
	17	387	
三島合計	27	1,290	
	59	1,415	

資料：西尾市、南知多町（2025 年 3 月 31 日現在）

佐久島

佐久島は、40 基余りの古墳を有し、7 世紀にはすでに木簡に名を残す古い歴史を有する。

観光レクリエーション施設としては、生活環境保全林整備事業によって整備した散策道がある。1998 年度には漁港海岸環境整備事業により海岸環境の保全と併せて海水浴場も整備され、各種イベントの会場としても活用されている。

集客イベントでは、2000 年度の「ネイチャーハイク 2000in 佐久島」を契機に、2001 年度から「佐久島歩け歩け海原三里」がスタートし、2024 年度には環境に配慮した「佐久島トレイルエコウォーキング」、「佐久島トレイルラン 2025+エコ」が開催された。その他には、アート作品を巡るスタンプラリーなどのイベントも開催されている。また、7 月から 8 月には『わくわく西尾体験“夏”』として西尾市内の各地でイベント等が行われており、佐久島でも毎年海水浴場で開催されている。

1996 年度に始まった現代アートによる島おこしは、2001 年度に行政と島民が協働で取り組む「三河・佐久島アートプラン 21」へと発展し、「祭りとアートに出会う島」をテーマに、島の祭りを基軸として、アートのイベントや展覧会等を開催しながらさまざまな出会いの場を創出しており、他の観光地とは一線を画した文化的な島づくり活動が続けられている。こうした活動の中心となっている「島を美しくつくる会」では、島内の環境保全整備や名物料理・特産品の開発などにも積極的に取り組んでいる。

2009 年には、古きよき時代の日本の漁村風景を残す黒壁の家並みや里山、それらを保全する人々の営みが評価され、マスコミ等が企画した「にほんの里 100 選」に選出された。近年では、佐久島の魅力がテレビや雑誌などのメディアに取り上げられ、若い女性やカップルが島内を散策する姿が定番になっている。

◇ 佐久島トレイルエコウォーキング、佐久島トレイルラン 2025+エコ

2021 年度から開催されていた島内周遊のウォーキングイベントである「佐久島歩け歩け海原三里」に、海岸漂着ごみの収集といった環境に配慮する要素を加え、2024 年度から開催されている、ウォーキングイベント及びトレイルランニングイベント。参加者にはマイカップ・マイボトルの持参を呼びかけている。開催時期は秋～冬で、観光客が少ない時期に賑わいをみせた。

◇ 三つの島めぐり（佐久島アート・ピクニック、弘法巡り、昼間の星巡り）

3つの異なるテーマで島内を巡るスタンプラリーが実施されている。

佐久島アート・ピクニック

: アーティストが島で制作した常設展示作品を鑑賞しながら気軽に参加できるスタンプラリー。



弘法巡り

: 島の伝統文化である佐久島弘法をアートと建築の力を借りて完全復活。大正時代から残る祠や現代アートの祠を鑑賞するもの。知多四国八十八か所巡り写し霊場も堪能できる。



昼間の星巡り

: 詳しい地図はなく、ゆっくり歩いて島を巡り、アート作品を探し当てる上級者向けの島巡り。アート作品もいろいろな方法で楽しむことができる。



作品の一つ

「星屑のテーブルクロス」

◇ 2024 年度新作アート作品

- ・すわるとこプロジェクト「こもれびベンチ」
光と影のコントラストが楽しめる作品となっている。



◇ 佐久島太鼓フェスティバル

独特の打ち方と迫力が魅力の佐久島奉納太鼓保存のために活動する佐久島太鼓保存会や、島外の団体を含む和太鼓演奏の競演イベント。島を美しくつくる会のいにしえ分科会が中心となり、2009 年より毎年秋に開催している。途中コロナ禍による中止もあったが、2024 年に第 14 回を迎えた。



日間賀島

日間賀島は、多数の化石や、縄文・弥生時代の遺跡、6～7世紀頃の高墳群が存在するなど、古い歴史を持つ島である。

島に伝わる「タコと阿弥陀如来の伝説²⁰」や、島付近でタコが豊富に捕れることに着目し、「タコの島」としてタコ料理やタコのキャラクター商品の開発、タコのモニュメントの設置などを推進してきた。近年では、稚魚の放流や魚礁の設置等によって漁獲量が増えたフグが特産品に加わったことから、「多幸（タコ）の島、福（フグ）の島」としてPRに努めている。

日間賀島では、島の自然を満喫できる体験学習プログラムの実践により大きな成果を上げてきたが、社会環境の変化や近年の観光客の減少に対応するため、全国に通用する日間賀島のブランド化創業事業への取組を始めた。この取組は、島のあらゆる資源を観光資源にして「疲れる旅から元気になる旅」をテーマに滞在型観光地を創出し全国展開するもので、既存の漁業体験プログラムやキッズアドベンチャーに、低カロリーでミネラル分豊富な健康料理、イルカの介在療法などを加え、団塊の世代とジュニア世代をターゲットに何泊もできる日間賀島を目指している。

2019年には渡船待合施設を整備し、待合ロビーや観光案内所、切符売り場、トイレ、授乳室を備えた複合施設が完成した。愛称は「ひまぽ」で、日間賀島の小中学生のアイデアから選ばれたものである。

◇ 海と空の自然学校

小学生を対象にゴールデンウィーク期間中に行われるメニューである。シェルアート、トランポリン、ハンドクラフトなどのほか、ビーチファイヤーといった夜間メニューもある。

◇ キッズアドベンチャー

小学生を対象に夏休み期間中に行なわれるメニューである。ちびっ子ゲームランド、シュノーケリング、クラブフィッシング、シーカヤック、ミニサーフスクール、ハンドクラフトなどのほか、ビーチファイヤーといった夜間メニューもある。



²⁰ タコと阿弥陀如来の伝説

その昔、日間賀島と佐久島の間にあった島が地震により陥没した。その後、その島にあった寺の阿弥陀如来像が漁師の網に掛かり、如来像を守るようにタコが絡みついていた。そのことが始まりといわれる「タコ阿弥陀如来」が安楽寺にまつられている。

◇ 人とイルカとのふれあい事業

イルカとの触れ合いを通して自閉症児らの生活支援を目指すもので、2006 年度より実施されており、2007 年度には一般の人に向けてのメンタルヘルス（心の健康）を増進するプログラムも実施された。自然の海を使った珍しい取り組みで、専門家の間では日間賀島の自然の中で集中的に取り組むことにより、効果の向上や受け入れ人数を増やすことができると期待されている。（2024 年度は開催中止）

◇ ひまかドルフィンキッズ

子供たちがイルカの世話のお手伝いや島内の清掃活動を通し、コミュニケーションの大切さ、自然を大事にする気持ちを養うことを目的とした活動をしている。また、日間賀島のビーチで、イルカの生態や飼育方法などの見学プログラムもある。（2024 年度は開催中止）



◇ 恋人ブランコ

日間賀島東港近くの高台にあるブランコで、高さ 7 m 程のクロマツの枝にぶらさげられている。ちょうど大人二人が寄り添って腰掛けられる幅のため、「恋人ブランコ」とも呼ばれる。設置されたのは 30 年ほど前で、子ども向けの自然体験旅行の企画に合わせて作られた。テレビや雑誌に取り上げられる他、近年は SNS を通じての人気も広がっており、島を代表する名所となっている。



◇ 漁業体験プログラム（期間 4 月～10 月）

漁村での生活を通して自然に触れ、漁師がインストラクターになって本格的な漁業体験をするもので、観光協会、漁業協同組合、漁業者（漁師）が一丸となって取り組むなど、若い世代を中心として交流人口の拡大に努めている。

「ようこそ日間賀島、自然体験ワールドへ」と題し、タコのつかみどり、干物づくり、漁船クルージングなどのプログラムを実施している。

◇ 渡船待合施設HIMAKAJIMA PORT「ひまぼ」

2019 年に日間賀島西港に完成した渡船待合施設。日間賀島観光協会の事務所もあり、観光案内や、漁業体験の手配をすることができる。



篠島

篠島は、800 年以上続くといわれる伊勢神宮への鯛の奉納「おんべ鯛²¹」の島として知られており、「タイとフグの島」として PR に力を入れている。島内には、「帝井²²」、「清正の枕石²³」など多くの史跡があるほか、万葉の丘・歌碑公園から眺める夕陽が美しく、NPO 法人日本列島夕陽と朝日の郷づくり協会によって「日本の夕陽百選」に選ばれるなど、古くから風光明媚な島として「東海の松島」とうたわれてきた。

1996 年には、漁協青年部が中心となって「海の釣堀・篠島つり天国」を開設し、タイやハマチ、アジなど大小様々な魚が放流され、釣り客の人気スポットの一つとなっている。

また、島で自生するアシタバを用いた料理や商品を開発したほか、1998 年からは、「おんべ鯛」の伊勢神宮への奉納行事を昔ながらの唐櫃に入れ漁船で運ぶ古式に復活するなど、観光振興に取り組んでいる。2005 年度には、島の周囲に 100 年ほど前に祀られた 88 体の石仏をお参りする「山弘法参り²⁴」の環境整備を行い、名称を「島弘法」巡りに変えて新たな観光資源として復活させた。なお、日間賀島・篠島には、「知多四国八十八ヶ所霊場めぐり²⁵」の札所があり（日間賀島：37 番札所、篠島：38 番・39 番札所・番外札所）、四季を通じて全国から多くの人が訪れている。

2014 年には渡船待合施設を整備し、船の切符売り場、観光案内所、売店を備えた複合施設「島の駅 SHINOJIMA」が完成した。また、2017 年 4 月には太一岬にあるキラキラ展望台

²¹ おんべ鯛

伊勢神宮の三大祭に供えられる神饌（しんせん：神に供える飲食物）のひとつで、鯛の塩漬けを海水で洗ってから天日干しにしたもの

²² 帝井（みかどい）

南朝の後醍醐天皇の皇子、義良親王（後の後村上天皇）が島に漂着された際、飲料水を親王にさしあげるために掘られた井戸。また、この井戸水は、愛知用水通水時まで島民の大切な飲料水であった。

²³ 清正の枕石

名古屋城を築城の際、石垣を担当した加藤清正が篠島・南風ヶ崎より石を切り出したが、どうしても運べなかった大きな石を「清正の枕石」と呼んでいる。

²⁴ 山弘法参り

明治時代末に海難事故により遭難死した 10 名の漁師の慰霊と海上安全、大漁などを願って、島内の海を見渡す道沿いに祀られた 88 体の石仏をお参りするもの。1965～1974 年頃までは弘法命日に島民が弁当を持って弘法参りをするなど、手軽な春の行事として定着していた。

²⁵ 知多四国八十八ヶ所霊場めぐり

弘法大師（空海）にちなむ四国八十八ヶ所霊場になぞらえたものであり、その開創は江戸時代（文政年間）に遡る。

が知多半島で初めて恋人の聖地として認定を受けるなど、篠島では新しい観光スポットが増えている。

◇ 篠島と伊勢神宮

篠島と伊勢神宮とは、千年以上の昔から深いかわりがある。篠島から「おんべ鯛」と呼ばれる塩漬けにした干鯛を毎年、伊勢神宮に奉納してきた。おんべ鯛の奉納は6、10、12月の3回に分けて行われるが、特に10月には、「おんべ鯛奉納祭」を開催し、篠島漁港で盛大にイベントが行われ、唐櫃に入った鯛が島民の大きな歓声を受けて伊勢神宮へと船で送り出されている。

また、伊勢神宮では20年ごとに式年遷宮が行われているが、この時に生じる古材は、篠島へと運ばれ島内の神明神社、八王子社として20年毎に蘇ることとなっており、2013年に伊勢神宮の式年遷宮が行われた際には、その2年後の2015年に両神社の造営が行われた。



おんべ鯛奉納祭



神明神社

◇ 名古屋城築城の史跡

篠島は約400年前に加藤清正が名古屋城築城の際に石を求めた場所であり、近年の調査で石を割る時に掘られた矢穴の残った残石「矢穴石」が37箇所341個確認されている。

しかし、残石の多くは海岸線に存在し、見学には安全上問題があったため、より多くの観光客の方々が安全に見学できるように、渡船施設前の広場に矢穴の残った残石と案内看板を展示した。島内部にある採石地跡には工事用足場を用いて、見学路を確保し安全に見学できるように整備している。また、2012年度には篠島に残されていた8トン余りの矢穴石が名古屋城に寄贈された。



渡船施設間の広場に展示されている矢穴石



名古屋城に寄贈された矢穴石

◇ 「島弘法」巡り

「山弘法」の風習をもう一度見直し「島弘法」として再整備することで新しい観光資源とし、海に見えるコースを歩いて回ることによって来島客だけでなく島民にも篠島の景観の美しさと文化を再認識してもらうとともに、健康づくりにも役立ててもらおう取り組んでいる。



◇ 島の駅SHINOJIMA

2014年に完成した渡船待合施設。観光案内所や売店も整備された複合施設であり、軽食をとることも可能となっている。また、島内観光に便利なレンタサイクルを借りることもできる。



◇ 恋人の聖地「太一岬 キラキラ展望台」

2017年4月に「恋人の聖地」に認定された展望台。展望台の入り口には伊勢神宮の古材で作られた鳥居が伊勢神宮を向いて立っており、展望台を登れば渥美半島から伊勢湾までを一望できる。

また展望台には愛の鐘が建てられ、そこから北へ600m程離れた海水浴場前にも、サテライトスポットとしてモニュメントが建てられた。訪れた人が鐘を鳴らしたり、愛の象徴として南京錠をモニュメントにかけられるようになっており、島の新しい観光スポットとしてPRされている。



◇ 特産宣伝キャラクター「しらっぴー」

篠島産しらすのブランド化を目指し、2008年に水産物加工業協同組合が中心となって、しらす日本一をPRするしらすのマスコットキャラクター「しらっぴー」が作成された。その後、2010年度に着ぐるみやのぼり旗も作成され島内外の祭事イベントに参加し、愛くるしい姿でお祭りを盛り上げている。観光イベントにおいては「しらす」と「篠島」のPR活動を行っている。



10 離島振興対策事業の実施状況

(1) 第6期離島振興対策事業(2003～2012 年度分)の実績

第6期離島振興対策事業の実績額の累計は、産業振興等の整備が3,532百万円で最も多く、次いで、社会生活環境の整備が3,440百万円となっており、この2つで全体の約8割を占めている(表20)。

表20 第6期離島振興対策事業の実績額の推移

(単位：百万円)

振興施策の区分		2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	計
交通通信施設の整備 (道路・航路)	佐久島	40	33	38	37	28	43	222	3	0	180	624
	日間賀島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	篠島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2島以上	24	22	21	20	20	21	22	21	21	22	214
	小計	64	55	59	57	48	64	244	24	21	202	838
産業振興等 (農業・水産業・漁港・環境)	佐久島	0	0	0	0	25	33	45	141	202	16	462
	日間賀島	91	177	64	28	28	39	52	38	30	0	547
	篠島	350	465	316	315	490	250	117	100	33	35	2,471
	2島以上	0	0	0	0	0	0	16	18	8	10	52
	小計	441	642	380	343	543	322	230	297	273	61	3,532
国土保全施設等の整備 (海岸保全・治山・消防)	佐久島	0	0	0	0	2	3	13	4	13	2	37
	日間賀島	37	11	27	24	4	9	37	4	28	30	211
	篠島	161	109	19	0	0	0	4	0	0	16	309
	2島以上	0	0	0	0	1	1	1	1	2	2	8
	小計	198	120	46	24	7	13	55	9	43	50	565
社会生活環境の整備 (水道・廃棄物処理・学校教育・社会福祉・公園・文教)	佐久島	47	8	63	31	62	37	83	57	59	122	569
	日間賀島	92	20	20	15	11	16	107	399	28	23	731
	篠島	17	19	37	0	0	1	26	117	167	0	384
	2島以上	197	187	175	169	169	174	174	174	173	164	1,756
	小計	353	234	295	215	242	228	390	747	427	309	3,440
保健医療 (診療所)	佐久島	39	32	52	50	51	52	70	50	50	40	486
	日間賀島	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3
	篠島	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	6
	2島以上	15	8	8	0	12	14	14	15	15	19	120
	小計	54	40	60	59	63	66	84	65	65	59	615
合計	佐久島	126	73	153	118	168	168	433	255	324	360	2,178
	日間賀島	220	208	111	70	43	64	196	441	86	53	1,492
	篠島	528	593	372	321	490	251	147	217	200	51	3,170
	2島以上	236	217	204	189	202	210	227	229	219	217	2,150
	小計	1,110	1,091	840	698	903	693	1,003	1,142	829	681	8,990

(2) 第7期離島振興対策事業（2013～2022年度分）の実績

第7期離島振興対策事業の実績額の累計は、12,020百万円となり、第6期（累計8,990百万円）に比べ3,030百万円、33.7%増加した。

各振興施策の区分では、「生活環境」が3,535百万円と最も多く、次いで「産業」が3,413百万円となっている（表21）。

表21 第7期離島振興対策事業の実績額の推移

（単位：百万円）

振興施策の区分		2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	計
交通通信 （道路・航 路等）	佐久島	152	152	153	164	168	173	165	172	192	163	1,654
	日間賀島	25	18	0	0	0	0	0	0	0	0	43
	篠島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2島以上	25	19	19	19	18	18	18	17	27	48	228
	小計	202	189	172	183	186	191	183	189	219	211	1,925
産業 （農業・水 産業・漁港 等）	佐久島	17	17	17	17	16	16	16	12	17	30	175
	日間賀島	20	17	52	105	218	285	86	161	114	83	1,141
	篠島	102	6	177	214	235	378	45	132	288	510	2,187
	2島以上	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
	小計	148	40	246	336	469	679	147	306	419	1,805	3,413
生活環境 （水道・廃 棄物処理・ 学校教育・ 社会福祉・ 公園・文教 等）	佐久島	154	69	71	70	75	97	93	83	76	82	870
	日間賀島	107	273	60	8	16	13	17	17	21	24	556
	篠島	0	0	9	0	53	6	1	6	6	5	86
	2島以上	178	205	191	191	203	203	206	220	216	210	2,023
	小計	439	547	331	269	347	319	317	326	319	321	3,535
医療・福祉	佐久島	45	34	34	38	39	38	35	49	37	41	390
	日間賀島	0	0	3	4	3	4	3	4	1	1	23
	篠島	0	0	62	59	54	53	52	52	52	45	429
	2島以上	19	17	9	2	3	2	2	2	3	5	64
	小計	64	51	108	103	99	97	92	106	93	93	906
消防・防 災、国土保 全（海岸保 全・治山・ 消防等）	佐久島	3	3	2	4	8	6	21	23	25	24	119
	日間賀島	19	47	9	13	11	13	15	25	3	0	155
	篠島	44	139	190	163	149	251	220	355	218	223	1,952
	2島以上	1	12	0	0	0	0	0	0	0	0	13
	小計	67	201	201	180	168	270	256	403	246	247	2,239
合計	佐久島	371	275	277	294	306	330	330	339	347	340	3,209
	日間賀島	171	355	124	131	248	315	121	207	139	109	1,919
	篠島	146	145	438	436	491	688	318	545	564	783	4,554
	2島以上	232	253	219	212	224	223	226	239	246	263	2,337
	合計	920	1,028	1,058	1,073	1,269	1,556	995	1,330	1,296	1,495	12,020

※2017年度以降は、消防・防災、国土保全に南海トラフ地震等対策事業費補助金は含んでいない。

※端数処理の都合上、小計と内訳の計とが一致しない場合がある。

(3) 第8期離島振興対策事業（2023～2032年度分）の実績

第8期離島振興計画（2023～2032年度分）に基づく離島振興対策事業の2024年度の実績額は、総額で●百万円となり、前年度（2023年度1,503百万円）に比べ8百万円、0.5%増加した（表22）。

表22 第8期離島振興対策事業の実績額の推移

（単位：百万円）

振興施策の区分		2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	計
交通通信 （道路・航路等）	佐久島	164	264									
	日間賀島	0	0									
	篠島	0	0									
	2島以上	53	21									
	小計	217	285									
産業 （農業・水産業・漁港等）	佐久島	36	29									
	日間賀島	92	18									
	篠島	361	245									
	2島以上	0	10									
	小計	489	302									
生活環境 （水道・廃棄物処理・学校教育・社会福祉・公園・文教等）	佐久島	85	89									
	日間賀島	78	76									
	篠島	5	419									
	2島以上	244	250									
	小計	412	834									
医療・福祉	佐久島	77	30									
	日間賀島	1	1									
	篠島	45	45									
	2島以上	7	5									
	小計	130	81									
消防・防災、国土保全 （海岸保全・治山・消防等）	佐久島	23	21									
	日間賀島	0	9									
	篠島	223	114									
	2島以上	7	0									
	小計	254	144									
合計	佐久島	386	433									
	日間賀島	171	104									
	篠島	635	823									
	2島以上	311	286									
	合計	1,503	1,646									

※2023年度以降は、消防・防災、国土保全に南海トラフ地震等対策事業費補助金は含んでいない。

※端数処理の都合上、小計と内訳の計とが一致しない場合がある。

11 愛知県離島振興計画に係る県・市町等の取組実績（2024 年度実施）

第 8 期愛知県離島振興計画に基づき、県及び市町等で実施された離島振興対策事業の 2024 年度の実績については以下のとおりです。

1 交通通信の確保

（1）離島航路・陸上交通・島内交通の維持確保・利便性の向上

- 離島航路は、住民の生活に必要な不可欠であるとともに、観光や物流など、愛知三島の振興の基盤であることから、安全・安定的な輸送の確保、鉄道及びバスとの接続を考慮した運航ダイヤの編成、渡船場等のバリアフリー化、新しい船の活用等により利便性・快適性の向上に努める。

対象地域	事業概要	実施主体
佐久島	佐久島行船のりばと西尾駅を結ぶ名鉄東部交通バス一色線について、路線維持確保のための補助金を交付しました。	市町等

- 離島航路事業は、天候や燃料費の変動等により運航収益に大きな影響を受けることから、財政的な支援等により経営の安定化を図る。また、島内事業者等が運送等で使用する海上輸送に係る費用について、適切な支援策を講ずることに努める。

対象地域	事業概要	実施主体
佐久島	定期航路事業者に対し、燃油価格の上昇分を支援する定期航路事業者燃油価格高騰対策支援金を交付しました。	県
佐久島	西尾市一色港の佐久島行船のりばから佐久島への渡船を運航しました。	市町等

- 新型輸送サービス（グリーンスローモビリティ、超小型モビリティ、自動運転等）の活用により、住民や観光客の利便性向上など地域の課題解決が期待できることから、実証実験の実施等、地域の実情に即した新型輸送サービスの活用に向けた取組を進める。

対象地域	事業概要	実施主体
佐久島	高齢化が進む島内の移動やレンタル自転車利用のオーバーツーリズムの問題を解決するためグリーンスローモビリティの実証実験走行を実施しました。また、観光客向けに観光案内付きでの走行実験を行いました。	市町等
日間賀島	1 日 13 便、小学生以上 1 乗車 100 円で、西港を起点として島内 4.6km の路線を運行しました。（「ぐるりーバス」） 利用者数：観光客等 8,775 人	市町等

- 様々な分野での実証実験を通じて、ドローン活用モデルの創出・発信を行うことにより、社会実装の実現を図る。

対象地域	事業概要	実施主体
佐久島	あいちモビリティイノベーションプロジェクト「空と道がつながる愛知モデル 2030」の物流ドローン社会実装モデル事業として、西尾市一色漁港～佐久島間で長期間の実証実験を行い、社会実装に向けた課題抽出・分析を実施しました。	県

- 島内交通の安全及び利便性の向上を図るため、バリアフリー化及び道路改良等の整備を進める。

対象地域	事業概要	実施主体
佐久島	西尾市が実施する市道佐久島 38 号線整備に対する補助を実施しました。(市町村土木補助事業費補助金)	県
佐久島	市道佐久島 38 号線整備のため、用地買収、物件補償及び道路改良工事を実施しました。	市町等

(2) 情報通信基盤の維持

- 愛知三島に整備されている光回線をより一層活用するため、学校教育や生涯学習の機会を捉えて情報機器操作能力の向上を図るとともに、テレワークやワーケーションの誘致などにより、新たな利用者の増加を図る。

対象地域	事業概要	実施主体
3 島	企業を対象としたワーケーション及び学生を対象としたスタディケーションのモニターツアーを実施しました。 (「あいちの離島ワーケーション等推進事業」)	県
佐久島	遊休農地の有効利用として宿泊滞在型農業体験施設「佐久島クライנגアルテン」を運営しました。個人利用に加え、法人利用としても貸出を行うことで、ワーケーションによる利用促進を実施しました。	市町等

2. 産業の振興

(1) 水産業・農業・商業等

- 合併処理浄化槽の設置等による排水対策により水質改善がなされてきているものの、漁業生産に必要な栄養塩の不足による漁業への悪影響も指摘されていることから、水質の保全と「豊かな海」の両立に向け、漁業生産の回復に必要な栄養塩濃度の算定やその確保を推進する。

対象地域	事業概要	実施主体
その他	これまでの排水規制により水質は改善されている一方で、漁業生産に必要な栄養塩不足によるノリやアサリへの影響が指摘されていることから、「水質保全と『豊かな海』の両立に向けた社会実験」の結果を検証するとともに、漁業生産に必要な栄養塩管理のあり方を検討するため、愛知県栄養塩管理検討会議を開催し、「漁業生産に必要な望ましい栄養塩のあり方」をとりまとめました。	県

- 稚魚の放流により漁場環境や生態系の保全を行うとともに、魚種毎の資源状況調査の強化による資源管理型漁業や栽培漁業を推進し、水産資源の増大及び持続的な有効利用を図る。

対象地域	事業概要	実施主体
佐久島	西三河漁協がアサリ、ナマコ、アワビの種苗放流を実施しました。	市町等
日間賀島・篠島	年々減少する水産資源の維持増大及び漁業経営の安定を図るため、漁協が実施するアワビ放流事業に対し、事業費の一部を補助しました。	市町等

- 漁業活動に欠かせない漁港施設や水産関連施設の整備・拡充に加えて、過去に整備した施設の予防保全型の維持管理を図る。

対象地域	事業概要	実施主体
篠島	効率的で効果的な漁港施設の更新を図るため、機能保全計画に基づく漁港施設の保全工事を行いました。	県
篠島	大規模地震の発生危険地域や過去に津波被害が発生した地域において、漁港施設の機能診断や安全確保がなされていない施設への機能強化を行いました。	県
篠島	水産物供給体制の確保及び漁港の環境並びに防災機能の向上を図るため、漁港施設の整備を実施しました。	県
佐久島	漁港施設機能保全計画に基づき、漁港施設の点検を実施しました。	市町等
日間賀島	漁港施設機能保全計画に基づき、漁港施設の補修工事を施工しました。	市町等

- カキなどの新しい養殖技術の導入や水産資源管理の取組に対する収入安定対策を推進するとともに、制度資金の充実により継続的な設備投資を支援することで、安定的に水産業を営む経営体の育成を図る。

対象地域	事業概要	実施主体
日間賀島・篠島	漁業者に対し長期かつ低利施設資金等の融通を円滑にし、その経営近代化を図るため、漁業近代化資金の利子補給を実施しました。	県・市町等

- 佐久島では、2012 年に開園した宿泊滞在型農業体験施設（クラインガルテン）を生かした農業収穫体験等を実施するとともに、テレワークやサテライトオフィスへの利用等、新たな形態での利用を促進する。

対象地域	事業概要	実施主体
佐久島	「あいちの離島ワーケーション等促進事業」内のステディケーションモニターツアーにおいて、「佐久島クラインガルテン」でのワークを実施しました。	県
佐久島	遊休農地の有効利用として宿泊滞在型農業体験施設「佐久島クラインガルテン」を運営し、野菜作り、ワーケーションによる貸し出し利用を実施しました。	市町等

- 既存産業の高付加価値化や愛知三島の特産品のブランド化を推進するとともに、インターネットを活用した情報発信を強化することで、新たな販路の拡大による需要の拡大等を推進する。

対象地域	事業概要	実施主体
3 島	県産水産物の知名度向上を図るため、SNS、雑誌、各種行事等で県産水産物のPRを行ったほか、授業で水産業について学ぶ機会のある県内全ての小学5年生を対象に、教材として「水産業のパフレット」と「下敷き」を配布しました。	県
3 島	県民に対する県産農林水産物の利用拡大を目的とする「いいともあいち運動」を推進しました。 また、いいともあいちフェアや、あいちの農林水産フェア等において、愛知の離島の水産物をPRしました。	県
佐久島	昔から栽培しているサツマイモをブランド化し、特産品となる芋焼酎を販売しました。	市町等

(2) その他

- 都市部企業と地元事業者等の交流による新たなイノベーションの創出や、地域の課題解決につなげることを目的として、既存の施設や空き家等を活用したワーケーション等のあり方について実証事業を行い、愛知三島の特性を生かしたテレワークやワーケーションを促進する。

対象地域	事業概要	実施主体
3 島	ウィズ・アフターコロナ時代の新たなライフスタイルとして注目される「ワーケーション」の実証事業として、企業を対象としたワーケーション及び学生を対象としたスタディケーションのモニターツアーを実施するとともに、SNS等を活用し、名古屋圏を中心に、ワーケーションの候補地としての魅力を伝えるプロモーションを実施しました。	県

3. 就業の促進

- 新たな地域の特産品開発やブランド化、販売ルートの開拓等の支援、情報発信等の取組により産業を活性化させ、雇用の創出を図る。

対象地域	事業概要	実施主体
3 島	県産水産物の知名度向上を図るため、SNS、雑誌、各種行事等で県産水産物のPRを行ったほか、授業で水産業について学ぶ機会のある県内全ての小学5年生を対象に、教材として「水産業のパンフレット」と「下敷き」を配布しました。(再掲)	県
3 島	県民に対する県産農林水産物の利用拡大を目的とする「いいともあいち運動」を推進しました。 また、いいともあいちフェアや、あいちの農林水産フェア等において、愛知の離島の水産物をPRしました。(再掲)	県

- 漁業就業者確保育成センターにおける就業希望者への相談対応や、体験研修の実施、漁業者の学習や交流などの活動支援により、次世代の漁村のリーダーとなる漁業士の育成を推進し、新規漁業就業者の確保・育成を図る。

対象地域	事業概要	実施主体
3 島	水産試験場内に設置されている愛知県漁業就業者確保育成センターにおいて、就業希望等の相談対応や体験研修を行いました。	県
日間賀島・篠島	新規漁業就業者への家賃補助を実施しました。	市町等

- 高齢者がその意欲や健康状態等に応じて、これまで培ってきた知識や経験を生かしながら就労や地域活動などの様々な場面で活躍していくことが期待されることから、シルバー人材センターにおける就業機会の確保を支援するとともに、再就職や起業に向けた支援など、高齢者にとっても働きやすい環境づくりを進める。

対象地域	事業概要	実施主体
その他	県内全域でシルバー人材センター事業を展開する連合会に対し補助を実施しました。	県
その他	多様な働き方を希望する高齢者と企業との出会いの場を提供することにより、高齢者の社会参加を支援するため、合同企業説明会を開催しました。 (計2回開催、参加企業21社、参加者61名)	県

その他	県内で求職活動をしている中高年齢者を対象として、早期就職に繋げる為、就職活動を効果的に行うためのノウハウの習得を目指すセミナーを開催しました。 (計6回開催、参加者219人)	県
-----	--	---

4. 生活環境の整備

- 上水道の安定的な供給を図るため、施設の耐震化を進めるとともに、老朽化した海底送水管の布設替を計画していく。

対象地域	事業概要	実施主体
3島	老朽化した愛知三島へ給水を行う海底送水管について、布設替えを行うとともに、陸上部分の耐震性の確保及び最適な経路への変更のため、重要給水拠点の管路耐震化事業を実施しました。	市町等

- 生活排水に含まれる有機物や窒素・りんなどの栄養塩類は、生命の営みに欠かせない栄養分であるが、大量になればプランクトンが異常増殖して赤潮や苦潮を発生させ、沿岸域におけるアサリ等の魚介類の減少といった漁業への影響を及ぼすことから、引き続き漁業集落排水処理施設の維持及び集合処理施設又は合併処理浄化槽の設置を促進する。

対象地域	事業概要	実施主体
日間賀島	漁業集落排水施設の補修及び機器改修 南知多町が実施する漁業集落排水施設の修繕及び機器改修に対する補助を実施しました。(漁業集落環境整備事業費補助金)	県
篠島	浄化槽設置補助を行う市町村に対して補助を実施しました。	県
日間賀島	漁業集落排水施設の長寿命化対策として、設備機器等の整備・補修を実施しました。	市町等

- 環境に配慮した商品の使用や資源ごみの分別収集を積極的に行い、環境負荷の少ない循環型社会づくりを推進する。

対象地域	事業概要	実施主体
佐久島	月に1回、可燃ごみ、不燃ごみ、資源物、粗大ごみを船舶にて運搬し、本土へ搬出して処理をしました。	市町等
佐久島	島内には東西地区に生ごみ処理機を設置し、島民の家庭から出る生ごみの処理を実施しました。令和5年度に西地区の生ごみ処理機が経年劣化により故障したため、生ごみ処理機の更新を行いました。	市町等
日間賀島・篠島	月2回の資源ごみ分別収集の他、年4回廃油回収を実施し、環境負荷の少ない循環型社会づくり推進に努めました。	市町等

5. 医療の確保

- へき地診療所の運営や設備・施設整備に対する補助、医師の確保など、へき地医療拠点病院と連携しながら、離島のへき地保健医療対策を推進する。

対象地域	事業概要	実施主体
佐久島・篠島	自治体又は公的団体の開設する診療所の安定的な医療を確保するため、赤字のへき地診療所に対して運営費を補助しました。	県
佐久島	佐久島診療所を管理運営し、愛知県から自治医科大学卒業医師の派遣を受け、佐久島地区住民の健康保持に必要な医療を提供しました。	市町等

日間賀島	島内にある個人開設の診療所に対し、離島診療所運営費補助金を交付しました。	市町等
篠島	厚生連知多厚生病院附属篠島診療所に対し、離島診療所運営費補助金を交付しました。	市町等

- 救急患者が利用する海上タクシー等による輸送費に対して助成し、家族の負担を軽減するとともに、ドクターヘリ、防災ヘリの活用により搬送時間の短縮等、救急医療の充実を図る。

対象地域	事業概要	実施主体
その他	ドクターヘリの運航に対する財政支援を行ったほか、救急医療情報システムの運営を行いました。	県
その他	防災ヘリコプターの名古屋市への運航委託により、2機種3機体制での運用を実施しました。	県
佐久島	救急傷病者の輸送経費を予算計上し、海上タクシー等による輸送費を公費負担しました。また、平成 28 年度から佐久島分遣所が発足し、消防職員の早期の傷病者接触やドクターヘリ等の早期活用により救急医療の充実を図りました。	市町等

- 産婦人科医がいないことから、周産期医療ネットワークの充実強化を図るとともに、妊婦の健康診査や出産のための医療機関への受診にかかる交通費補助など、妊娠中から出産後までの継続した支援体制の整備を進める。

対象地域	事業概要	実施主体
佐久島	佐久島に住所を有する妊婦が、妊婦健診等の受診及び出産のために自宅（佐久島）から医療機関への異動に要した交通費の一部を助成しました。また、佐久島に住所を有する妊婦から妊娠の届出があった場合にチラシを配布し周知しました。	市町等

6. 感染症対策の充実

- 新たな大規模感染症へのリスク対応については、国、関係機関等と緊密に連携して、危機管理マニュアルの策定・見直しや研究及び訓練による危機管理意識・能力の育成向上、危機発生の原因究明や再発防止策の検討・実施など、リスクに応じた危機管理体制の充実に取り組む。

対象地域	事業概要	実施主体
その他	新たな感染症の発生及びまん延に備えるため、病床、外来医療及び医療人材並びに感染症対策物資の確保の強化、情報基盤の整備等の措置を講ずるため、県内の医療機関等と、医療措置協定を締結しました。	県
その他	B C Pセミナーや県政お届け講座の開催等によるB C Pの普及・啓発活動を実施しました。（感染発生段階ごとの対応方針検討の考え方や職場別の感染症予防策を掲載した「新型コロナウイルス感染症対策あいちB C Pモデル」の内容も含む）	県

- 生活の面では、感染症に対する正しい知識の普及啓発を通じ、1人1人が感染症の予防及び蔓延防止に取り組む体制づくりを進める。

対象地域	事業概要	実施主体
その他	新型コロナウイルス感染症をはじめ、県内における感染症の発生状況をホームページで公表したほか、季節性インフルエンザについて、県内の感染状況をもとにインフルエンザ警報を発令しました。	県

その他	県ホームページにて、新型コロナウイルス感染症や感染症胃腸炎等の各種感染症の基本的な感染症防止対策を周知しました。	県
-----	--	---

- 未知なる感染症の流行に際しては、その特徴や規模、地域の特性などに応じ、医療・福祉関係者や専門家、国や近隣県等の関係機関・諸団体と緊密に連携・協力し、住民生活及び地域経済に及ぼす影響を最小化できるよう、平時から体制づくりを進める。

対象地域	事業概要	実施主体
その他	新たな感染症の発生及びまん延に備えるため、病床、外来医療及び医療人材並びに感染症対策物資の確保の強化、情報基盤の整備等の措置を講ずるため、県内の医療機関等と、医療措置協定を締結しました。(再掲)	県

7. 介護サービス等の確保

- 健康寿命の延伸を図るため、健康教育講座の開催や健康情報ポータルサイト「あいち健康ナビ」による情報提供を実施するとともに、地域における介護予防事業に対応できるリハビリテーション専門職の育成や、介護予防・自立支援に関する専門的な知識を有するアドバイザーの派遣など、市町の取組を支援する。

対象地域	事業概要	実施主体
その他	医師会等が開催するセミナーや、健康に関するコラムなどの健康情報を掲載するポータルサイト「あいち健康ナビ」を通じて、健康に関する情報提供を実施しました。	県
佐久島	地域包括支援センター主催で年1回健康相談会を開催。介護予防や自立支援について情報提供を行いました。	市町等

- 高齢者の孤立を防ぎ、医療や介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、医療・介護・予防・生活支援・住まいを一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築を進める。

対象地域	事業概要	実施主体
佐久島	佐久島診療所医師、看護師、いきいきサービス職員、ヘルパー、訪問リハ、消防、民生委員など関係者が連携し、島民の個別の健康課題や地域課題を共有し検討する佐久島情報交換会を地域包括支援センターが開催しました。(年2回)	市町等
日間賀島・篠島	住民の自主グループによる体操やサロンの運営を地域包括支援センターが支援するとともに、理学療法士や保健師等による運動指導や健康教育を実施しました。また、町職員によるひとり暮らし高齢者の見守り訪問を実施しました。	市町等

- 介護サービスを担う人材の育成・確保のため、専用ポータルサイトによる情報発信や、教育の場における介護体験の実施などにより、介護職に対する理解を促進するとともにその魅力を広く発信する。

対象地域	事業概要	実施主体
その他	介護職に対する理解の促進及び魅力を発信するため、専用ポータルサイト「介護の魅力ネット・あいち」による情報発信を行うとともに、愛知県内の高校生に介護福祉施設で実務を体験してもらう「介護教室」を行うなどの取組を実施しました。	県

- 介護サービスにおける本土との格差是正にむけて、介護サービス利用者の費用負担の軽減やサービス提供事業者への助成等を行う。

対象地域	事業概要	実施主体
佐久島	離島福祉サービス利用者助成事業として、サービス提供事業者に付随する渡船料等を助成しました。	市町等

8. 高齢者福祉等の増進

- 高齢者の方が自ら要介護状態又は要支援状態になることの予防に努めることができるよう、自主的・継続的に介護予防活動に取り組むことができる「通いの場」を充実していくことで、健康寿命の延伸と介護予防の推進を図る。

対象地域	事業概要	実施主体
佐久島	閉じこもりや要介護状態になることを予防するために、送迎付きで、健康チェック・体操・レクリエーション等を行う「いきいきサービス」を週2回開催しました。	市町等
日間賀島・篠島	デイサービスでの介護予防事業や、高齢者の自主グループによる通いの場への体操指導を実施したほか、サロン活動に係る運営費を補助しました。	市町等

- 障害のある人が社会で活躍し、地域で安定的かつ継続的に自立した生活が送れるよう、障害のある人やその家族からの相談対応など障害者就業・生活支援センターにおける支援の充実等、就労支援の充実を図る。

対象地域	事業概要	実施主体
その他	障害のある人の職業生活における自立を図るために就業及びこれに伴う日常生活又は社会生活上の支援を必要とする障害のある人に対して、雇用、保健、福祉、教育等の関係機関との連携を図りつつ、必要な指導、助言その他の支援を行いました。 (佐久島は西三河南部西圏域、日間賀島・篠島は知多半島圏域に該当)	県

- 妊娠期から子育て期に至る保護者の様々なニーズに対して、切れ目なく総合的な相談支援が提供できるよう、研修の実施等により子育て世代包括支援センターの充実・強化を図る。

対象地域	事業概要	実施主体
日間賀島	日間賀島観光協会では、自閉症児らの生活支援及び一般の人向けのメンタルヘルスを増進するプログラムを実施しました。(人とイルカとのふれあい事業)	市町等
日間賀島・篠島	母親の子育てに関する不安を解消するために、子育て支援センター「ちびっこひろば」をコミュニケーションの場として提供しました。	市町等

- 県のポータルサイトにおける子育て支援情報の提供により、子育て家庭の情報収集に関する利便性の向上を図る。

対象地域	事業概要	実施主体
その他	市町村の子育て情報や遊び場検索、イベント情報を掲載した愛知県の子育てポータルサイト「あいちはぐみんネット」を運営し、子育て家庭の情報収集に関する利便性の向上を図りました。	県

- 佐久島には市立保育施設（認可外）、日間賀島には町立保育所、篠島には私立保育所が設置されており、引き続き子どもたちが心身ともに健やかに成長できるよう環境整備を推進する。

対象地域	事業概要	実施主体
日間賀島	町立保育所において、必要な修繕等を実施しました。 2024 年度：レバーハンドルの修理、廊下・屋根の水漏れ修理、調理室の換気扇の取替え、ガラス取替え、扉の修理	市町等
篠島	篠島に設置されている私立保育所が実施した改修工事のうち、必要な修繕等に対し、民間保育所運営費（管理費）補助金を交付しました。 2024 年度：遊具ブランコ座板・ジャングルジムの修理、給水ポンプの取替え、窓ガラス・網戸の修理、倉庫のドアノブ取替え、扉の修理	市町等

9. 教育及び文化の振興

（1）教育の振興

- 誰もが個別に最適化された学びにアクセスできるよう、ICT による個々の児童生徒の学習状況や心身の状況の一元的な把握、障害のある児童生徒や経済的支援が必要な児童生徒、不登校児童生徒、特異な資質・能力をもつ児童生徒等への支援、離島の地理的な条件に左右されない ICT の活用等、教育における ICT の活用を進める。

対象地域	事業概要	実施主体
佐久島	西尾市の計画のもと、一人一台タブレット端末の整備や学校におけるインターネット環境の整備など、市内の他の小中学校と同様の環境を整備し、ICT の活用を行いました。	市町等
日間賀島	中学生に対し一人一台タブレット端末を整備し、ICT の活用を行ったほか、南知多中学校では、毎日タブレット端末の持ち帰りをしており、日間賀島地区生徒は悪天候による渡船の欠航時においても、自宅でオンライン授業を受けられる体制を整えました。	市町等
篠島	中学生に対し一人一台タブレット端末を整備し、ICT の活用を行いました。	市町等

- 小中学校では、GIGA スクール構想に基づき、一人一台端末環境の維持を図ることや情報通信技術支援員（ICT 支援員）等の人的配置など、ICT を活用した学びの環境の充実を図る。

対象地域	事業概要	実施主体
佐久島	一人一台端末環境を維持し、情報通信技術支援員（ICT 支援員）も適切に配置しました。	市町等
日間賀島・篠島	町内小中学校に情報教育アドバイザー（ICT 支援員）を配置しており、離島の学校についても教職員のサポートや児童のタブレット端末の操作指導などのために定期的に来校し、ICT 活用の支援を担いました。	市町等

- 人口減少地域における教育の充実を図るため、児童生徒が減少する地域の小規模校に対し、国の「小学校複式学級編制基準」を上回る県基準を継続する。

対象地域	事業概要	実施主体
その他	小学校の複式学級編制基準について、国が定めた基準（16 名、1 年生を含む場合は 8 名）を上回る基準（14 名、1 年生を含む場合は 7 名）を継続することで、複式学級の解消に努めました。	県

佐久島	県基準に基づき学級編制を行い、教員を配置しました。	市町等
日間賀島 ・篠島	県基準に基づき学級編制を行い、教員を配置しました。	市町等

- 日間賀島及び篠島においては、施設の再配置や長寿命化を踏まえ、老朽化の著しい校舎、体育館など必要な改修を検討するとともに、篠島小学校東山校舎の取壊しや 2022 年度末で閉校する日間賀中学校の跡地利用の検討を進める。

対象地域	事業概要	実施主体
日間賀島	施設の再配置や長寿命化を踏まえ、老朽化の著しい校舎、体育館など必要な改修を検討するとともに、旧日間賀中学校の跡地利用の方向性を検討しました。	市町等
篠島	施設の再配置や長寿命化を踏まえ、老朽化の著しい校舎、体育館など必要な改修を検討するとともに、篠島小学校東山校舎の取壊しを検討しました。	市町等

- 高等学校等への通学に離島航路を使用することが必要であることから、輸送量及び定時運航を確保するとともに、通学者の費用負担の軽減を図るための必要な措置を講じるよう努める。また、南知多町においては、中学校再編により本土の南知多中学校に通学することとなることから、通学者の費用負担の軽減を図るための必要な措置を講じるよう努める。

対象地域	事業概要	実施主体
日間賀島	日間賀島から南知多中学校へ通学する中学生に対し、国の「へき地児童生徒援助費補助金」を活用し、海上交通費及びバス通学費を補助しました。	市町等
日間賀島 ・篠島	島外の高等学校へ進学する高校生に対し、通学や居住費を補助することにより通学条件の格差是正と就学機械の拡大に努めています。 (離島高校生修学支援費補助金)	市町等

- 小・中学校の体験学習の受入れによる住民との交流や校区外からの児童・生徒を受け入れる小規模特認校制度（しおかぜ通学）等、豊かな自然環境、特色を生かした教育環境の整備を進める。

対象地域	事業概要	実施主体
日間賀島 ・篠島	ふるさと 出会いの創造推進事業として、ふるさとを愛する心と態度を育むために、地域や県内の教育資源（人・もの・こと）を生かして、地域の実情に合わせた学習活動や体験活動をする経費を補助しました。	県
佐久島	豊かな自然環境の中、人と触れ合いながら勉強でき、一人ひとりに合った指導ができる義務教育佐久島しおかぜ学校を運営し、また、島民の理解と支援のもと小規模特認校制度「しおかぜ通学」として、島外からの生徒を受け入れました。	市町等
日間賀島	郷土を誇りに思う気持ちを育み、島のためにできることを行うため、児童が日間賀サミットなどを実施しました。	市町等
篠島	郷土を誇りに思う気持ちを育み、島のためにできることを行うため、児童が継続的な浜の清掃活動、郷土料理の学習などを実施しました。	市町等

(2) 生涯学習の推進

- 「学びネットあいち」を活用し、生涯にわたって能動的に学び続けられる環境づくりを進める。

対象地域	事業概要	実施主体
その他	愛知県の生涯学習ポータルサイト「学びネットあいち」において、生涯学習に係る講座・イベント情報を提供しました。	県

(3) 文化の振興

- 愛知三島独自の伝統行事や文化遺産等を将来にわたって継承するため、自然、歴史、文化を生かした体験学習などを通じて担い手の育成を図るとともに、文化財の修理・記録保存・活用を進める。

対象地域	事業概要	実施主体
佐久島	島内最大の古墳であるエベス塚古墳の発掘調査を行い、墳頂部で石棺を有する石室が見つかりました。石室内からは、鉄鉾や鉄鏃、須恵器壺などが出土し、佐久島最古の直径 20cm 前後の円墳であることが判明しました。	市町等
佐久島	古墳時代の製塩遺跡である掛梨遺跡の発掘調査を実施した結果、多数の製塩土器が出土しおおよその遺跡の範囲を確認することができました。	市町等
佐久島	昔から存在するレンガ造りの祀や、アーティスト、県内の大学で建築を学んだ学生が制作した祀など様々な佐久島弘法を巡るスタンプラリーを実施しました。（「佐久島八十八ヶ所を巡る「佐久島弘法巡り」」）	市町等
日間賀島	日間賀島観光協会では、子供たちがコミュニケーションの大切さ、自然を大事にする気持ちを養うことを目的として、イルカの世話の手伝いや島内の清掃活動を実施しました。（ひまかドルフィンキッズ）	市町等
篠島	篠島観光協会が、来島者や島民に篠島の景観の美しさを感じ、健康づくりや島の文化の再認識に繋げるため整備した「島弘法」を活用し、PRを実施しました。	市町等

- 展示施設の充実を図るとともに、県内外に情報発信を行い、多くの方が愛知三島の伝統芸能や文化遺産等に触れ合える機会を増やす取組を進め、観光促進や住民との交流により地域活性化を図る。

対象地域	事業概要	実施主体
佐久島	島を美しくつくる会のいにしえ分科会が中心となり、佐久島太鼓保存会を含む6チームによる和太鼓演奏の競演イベント「佐久島太鼓フェスティバル」を実施しました。	市町等
佐久島	島を楽しんで巡る島のウォーキング、参加者各々のオリジナルの品を製作できるワークショップを開催したほか、島内に数多く残る古墳を訪問してもらうため、「佐久島古墳ウォーキングマップ」を作成して配布しました。	市町等
日間賀島	日間賀島東港近くの高台にある「恋人ブランコ」を、島を代表する場として提供しました。	市町等
篠島	篠島観光協会では、渥美半島から伊勢湾を一望できる展望台と愛の鐘を観光スポットとしてPRしました。また、名古屋城築城の際に	市町等

	求めた石について、渡船施設前の広場に矢穴の残った残石と案内看板を展示するとともに、碎石地跡では見学できる場を提供しました。	
篠島	篠島は伊勢神宮と深い繋がりがあるため、1月の正月祭礼・大名行列、10月のおんべ鯛奉納祭、7月の祇園祭・野島祭の3つの祭礼を中心に、神々に愛される歴史豊かな篠島を発信するために篠島観光協会が「篠島祭礼MAP」を活用しPRしました。	市町等

10. 観光の開発

- インターネット等を活用した効果的な情報発信、ボランティアガイドの育成、観光案内所の充実、観光案内看板の設置等により、親切で分かりやすい観光情報の発信に努めるとともに、施設のバリアフリー化を推進し、観光客が旅行しやすい環境の整備を進める。

対象地域	事業概要	実施主体
3島	愛知県公式観光ウェブサイト「Aichi Now」において、離島地域の観光情報について情報発信を行いました。	県
佐久島	佐久島公式ホームページを運営し、佐久島の観光や佐久島での暮らしをPRしました。	市町等
佐久島	島を楽しんで巡る島のウォーキングやスタンプラリー、参加者各々のオリジナルの作品を製作できるワークショップ等を開催しました。	市町等

- 漁業関係者との協力による漁業体験や自然との触れ合い、歴史学習など、地域資源の着地型観光プログラム化を推進する。

対象地域	事業概要	実施主体
佐久島	日本郵船株式会社、島を美しくつくる会及び西三河漁協協同組合佐久島支所が協力し、アマモを増やして藻場を再生する活動を実施しました。	市町等
日間賀島	日間賀島観光協会では、4月から10月にタコのつかみどり、キス網魚、干物づくり、漁船クルージングなどの漁業体験プログラムを実施しました。 また、ゴールデンウィーク期間中には、小学生を対象として昼間はシェルアート、トランポリン、ハンドクラフトを、夜間にはビーチファイヤーを実施しました。 このほか、夏休み期間中には、小学生を対象として昼間はちびっ子ゲームランド、シュノーケリング、クラブフィッシング、シーカヤック、ミニサーフスクール、ハンドクラフトを、夜間にはビーチファイヤーを実施しました。	市町等
篠島	岐阜県の中学生を受け入れ、島の歴史や自然体験のほか、漁船でのすなめりウォッチング等実施しました。	市町等

- 佐久島では現代アートをテーマとした様々なイベントや展示会が年間を通して開催されるなど、文化的な島づくりを目指した活動が行われていることから、これらの活動を生かした観光を促進する。

対象地域	事業概要	実施主体
佐久島	愛知県公式観光ウェブサイト「Aichi Now」において、島内のアート作品を巡るモデルコースを掲載するなど、情報発信を行いました。	県
佐久島	3種類の島巡りを実施しました。	市町等

	<p>○いつでもアートな島めぐり「佐久島アート・ピクニック 2024」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アーティストが島で制作した常設展示作品を鑑賞しながら、気軽に参加できるスタンプラリー <p>○佐久島八十八ヶ所を巡る「佐久島弘法巡り」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔から存在するレンガ造りの祀や、アーティスト、県内の大学で建築を学んだ学生が制作した祀など様々な佐久島弘法を巡るスタンプラリー <p>○夜空に星を探すように、地図にない作品を巡る「昼間の星」</p> <p>作品の正確な位置を記した地図も看板も記念のスラングもない、じっくりと迷いながらゆっくりと島歩きの楽しさを再発見してもらうための「昼間の星」巡り。</p>	
佐久島	新作のアート作品として、光と影のコントラストが楽しめる「こもればペンチ」が製作されました。	市町等

11. 地域間交流の促進

- 大都市に近接している地理的条件を生かし、都市部企業と事業者との交流を進め、地域資源を生かした新たな産業の創出等を推進する。

対象地域	事業概要	実施主体
佐久島	島を美しくつくる会及び西三河漁業協同組合佐久島支所が協力し、アマモを増やして藻場を再生する藻場の再生活動を実施しました。活動には活動には日本郵船株式会社、旭運輸株式会社など協力会社から企業版ふるさと納税での資金援助と活動に参加がありました。	市町等

- 都市部在住者との関係強化による担い手の拡大を図るため、「知る」、「足を運ぶ」、「地域住民と関わる」、「コミュニティに参加する」など、段階に応じた地域との関係を深める取組を進める。

対象地域	事業概要	実施主体
3 島	「あいちの離島関係人口持続化・深化事業」を実施し、地域の課題解決のための外部人材と地域の協働・連携に向けた取組を実施するとともに、外部人材と島民との交流イベント等を開催し、地域課題解決への意識醸成や外部人材の発掘・育成を図りました。また、イベントの企画・出展等により、愛知の離島の認知度向上や地域課題解決に向けた取組をPRしました。	県
佐久島	島を美しくつくる会は、「三河湾の黒真珠」の景観を修復しました。また島外の人々とも協働しながら活性化を推進し、関係人口に係る交流活動を支援しました。	市町等

- 地元への愛着や関心を深め、将来的な U ターンや定着に結びつけるために、地元産品・企業の魅力発信やイベント開催などを通じて魅力を再発見し、愛着や関心を高めるための取組を推進する。

対象地域	事業概要	実施主体
3 島	「島と都市」、「島と島」をつなぐ交流イベントであるアイランダー（東京都で開催）に出展し、愛知三島の魅力をPRするとともに、移住相談や佐久島での地域おこし協力隊の募集を行いました。	県・市町等

- 「産業首都あいち」といわれるように産業県のイメージが強い愛知県では、豊かな自然や伝統芸能を有している離島地域のイメージがさほど強くないため、首都圏等都市部在住者に対して、移住先や関わり先としてイメージしやすくなるよう、2021 年度に策定したキービジュアルを活用した情報発信を行う。

対象地域	事業概要	実施主体
3 島	あいちの離島等の P R のために作成したキービジュアルを活用し、S N S 広告により、首都圏に向けた情報発信を実施したほか、あいちの離島の認知度向上を図るため、魅力を発信するためのセミナーを開催するとともに、佐久島において移住体験ツアーを実施しました。	県

- 移住希望者と住民との交流会や「ふるさと回帰支援センター」の専属相談員による情報発信・相談等を通じて、愛知三島への移住を促進する。

対象地域	事業概要	実施主体
3 島	「ふるさと回帰支援センター」（東京都有楽町）に移住相談窓口「愛に行こう！あいち移住・定住相談センター」を設置し、愛知県専属の相談員が、本県への移住に関する相談対応を行いました。	県
佐久島	佐久島への移住を P R するため、「佐久島で暮らす」パンフレットを配布するとともに、佐久島公式ホームページにおいて、佐久島への移住定住に関する情報を発信しました。	市町等

- 空き家を地域資源として捉え、空き家の改修等による移住体験施設の整備、空き家の店舗貸出等に向けた所有者に対する啓発等、再利用が可能な空き家の利活用を促進する。

対象地域	事業概要	実施主体
佐久島	移住体験施設として活用可能な空き家についての調査を実施しました。	市町等

12. 自然環境の保全

- 愛知三島の自然環境や生物多様性を保全・再生するため、地域環境の保全や絶滅危惧種の保護、侵略的外来種の対策を進める。

対象地域	事業概要	実施主体
佐久島	市町村等が行う森林病虫害防除事業の実施に関する経費に対し、補助を実施しました。 松くい虫防除（樹幹注入）	県
佐久島	藻場の再生によるブルーカーボン ²⁶ の拡大に向け、佐久島沿岸を含む三河湾内 2 地点においてアマモ場再生の実証実験を実施したほか、佐久島において「三河湾藻場再生体験会」を開催しました。	県
佐久島	潮害防備・保健休養機能の維持及び景観保全のため松くい虫防除（樹幹注入）を実施しました。	市町等
佐久島	佐久島しおさい学校では、島外のボランティアとともに、藻場を再生するため、アマモの移植等の取組を実施し、「SDGs AICHI EXPO における「ブルーカーボン推進の取組と課題」についてのパネルディスカッションに参加しました。	市町等
佐久島	島を美しくつくる会及び西三河漁業協同組合佐久島支所が協力し、アマモを増やして藻場を再生する藻場の再生活動を実施しま	市町等

²⁶ ブルーカーボン

アマモ等の海藻等が光合成によって海域に固定する炭素のこと。CO₂吸収源の新たな選択肢として注目を集めている。

	した。活動には日本郵船株式会社、旭運輸株式会社など協力会社から企業版ふるさと納税での資金援助と活動に参加がありました。 (再掲)	
--	---	--

- 三河湾の沿岸や流域における環境再生の取組をさらに発展・定着させるため、三河湾環境再生パートナーシップ・クラブを構成する県民、NPO、企業、関係団体、教育機関、行政等が連携・協働して行う様々な活動を推進する。

対象地域	事業概要	実施主体
その他	三河湾環境再生パートナーシップ・クラブ共催により「三河湾大感謝祭」を開催し、佐久島の「島を美しくつくる会」が佐久島の海岸漂着ごみをテーマに制作されたアート作品を展示するなど、愛知三島が所在する三河湾の再生に向けた取り組みの機運の向上につながる取組を実施しました。	県
佐久島	三河湾環境再生パートナーシップ・クラブに加入する「島を美しくつくる会」が、三河湾大感謝祭に出展し、名古屋芸術大学とのコラボプロジェクト「海のごみ 島だから見えるコト！わかるコト！！」海洋ごみの発生抑制対策事業でアート作品を展示して、海ごみの啓発活動を行いました。	市町等

- 生態系を含めた海洋環境の悪化や海岸機能の低下などを引き起こす漂着ごみ等への対策として、発生原因を踏まえた発生抑制のための啓発等を行うとともに、市町における漂着ごみ等の回収・処理の支援を行う。

対象地域	事業概要	実施主体
3 島	「愛知県海岸漂着物対策推進地域計画」で重点区域と定めた海岸（佐久島地区、篠島地区、日間賀島地区）における海岸漂着物の回収・処理事業等に対し補助を実施しました。	県
佐久島	島内外の方が参加する漂着ゴミ回収ボランティア活動を実施しました。また、不定期で大学生や小中学生が行う海岸清掃に協力しました。	市町等
佐久島	名古屋芸術大学とコラボプロジェクト「海のごみ 島だから見えるコト！わかるコト！！」を開催し、海洋ごみの発生抑制対策事業において、アート作品展示により海ごみの啓発活動を行いました。また、三河湾大感謝祭、SDGs AICHI EXP02024, アイランダー、佐久島ナビステーションで成果を報告しました。	市町等
日間賀島・篠島	住民や観光客の憩いの場となっている海水浴場等に漂着したごみ対策として、定期的に海岸清掃を実施し、海岸及び自然環境の保全に努めました。	市町等

13. エネルギー対策

- 全国的にみても日照時間が長い特性を生かした太陽エネルギーの更なる活用や地域の未利用資源・エネルギーの利活用の推進により、地域の実情に応じた再生可能エネルギー等の導入拡大・地産地消を推進する。

対象地域	事業概要	実施主体
佐久島	遊休農地の有効利用のため運用している宿泊滞在型農業体験施設「佐久島クライנגアルテン」の管理棟に太陽光発電用の設備を設置し、再生可能エネルギーの地産地消に努めました。	市町等

14. 消防・防災対策

- 南海トラフ地震等の発生が危惧されることから、地震の揺れや津波被害から住民生活や社会経済活動を守るため、住宅や建築物の耐震化の促進を始め、自然環境に配慮をしつつ、上水道、排水施設、道路、漁港、海岸等の社会インフラの耐震性強化・津波対策や土砂崩れなどの危険箇所に対し、治山・急傾斜地崩壊対策を着実に推進する。

対象地域	事業概要	実施主体
篠島	津波や高潮等の浸水被害に対する安全性を確保するため、漁港内に新たに胸壁・陸間を整備しました。	県
日間賀島・篠島	市町村が早急に対処しなければならない地震防災対策事業に要する経費に対して補助を行いました。 (消防団活動に対する支援)	県
日間賀島・篠島	集中豪雨等により荒廃した森林において、山地災害から島民の生命・財産を保全するため、治山施設を整備しました。	県

- 南海トラフ地震に関する情報に応じ、住民が適切な避難活動を取ることができるよう、地域の災害リスクの周知や防災訓練の充実などに取り組むとともに地震等の発生時に、島内の地理に詳しくない観光客等が安全かつ迅速に避難できるよう、避難経路看板等の設置により、避難誘導體制の充実を図る。

対象地域	事業概要	実施主体
その他	あいち・なごや強靱化共創センターの行政人材育成研修（選択研修）において、避難情報の判断・伝達に関する知識を深めるための研修（水害編）を実施しました。	県
佐久島	島民が適切な避難活動をとることができるよう、ハザードマップの配布や防災訓練を実施しました。また、避難経路看板により、観光客等が安全かつ迅速に避難できるように努めました。	市町等
日間賀島・篠島	島民が適切な避難活動をとることができるよう、ハザードマップの配布や防災訓練を実施しました。また、避難経路看板により、観光客等が安全かつ迅速に避難できるように努めました。	市町等

- 風水害に対しては、自然との調和や利用面等に配慮した海岸保全施設の整備を着実に推進する。また、国等と連携し、ICTを活用した適時の避難情報の発信や、効果的な情報伝達により、住民や事業者の適切な行動に結びつけ、災害から命を守る社会への展開をめざす。

対象地域	事業概要	実施主体
佐久島	市公式ライン、西尾市防災アプリを活用し、警報・注意報の周知等の情報発信を行いました。	市町等
日間賀島・篠島	メール配信サービスを用いて災害・気象情報等の発信を実施しました。災害対策本部設置時には、メールサービスでの情報発信と併せて町公式ホームページやX（旧 Twitter）、Yahoo!くらし、ケーブルテレビのデータ放送での情報発信を実施しました。	市町等

- 人家が密集し、道路も狭く、火災は大惨事に結びつく恐れがあることから、火災発生時に速やかな初期消火ができるよう、消防署員や消防団員による消火訓練等を実施することで地域防災力の向上を図るとともに、消防利水、各種消防用資機材などの充実を図る。

対象地域	事業概要	実施主体
日間賀島・篠島	市町村が実施する消防団活動支援事業について、財政支援を実施しました。（南海トラフ地震等対策事業費補助金、南知多町を含む 34 市町村に補助）	県

日間賀島 ・篠島	消防団を対象として、小型動力ポンプ付積載車及び多機能型ポンプ自動車といった消防活動に必要な資器材等の整備に係る財政支援を実施しました。			県	
	離島（日間賀島・篠島）に係る実績（資機材）				
		日間賀島	篠島		
	消防団資機材	消防ポンプ用ホース	3		3
		活動服	3		3
		アポロキャップ	3		3
		トランシーバー			2
小型動力ポンプ		1			
佐久島	西尾市消防団佐久島分団に、軽くて取り扱い易い 50 mmホース及びガンタイプノズルを新たに配備し、西尾市消防本部佐久島分遣所職員による指導で、迅速かつ効果的な消火活動ができるよう訓練を実施しました。			市町等	
日間賀島	南知多町消防団第 5 分団（日間賀島）において火災対応訓練を実施するとともに、消防ポンプ用ホースや消防広報車などの消防資機材を新たに配備しました。			市町等	
篠島	南知多町消防団第 4 分団（篠島）において防災訓練を実施するとともに、トランシーバーや小型動力ポンプなどの消防資機材を新たに配備しました。			市町等	

- 防風、防潮機能などに重要な役割を持つ松林を松くい虫の被害から守るため、森林病虫害防除事業等による対策を推進する。

対象地域	事業概要	実施主体
佐久島	市町村等が行う森林病虫害防除事業の実施に関する経費に対し、補助を実施しました。 松くい虫防除（樹幹注入）（再掲）	県
佐久島	潮害防備・保健休養機能の維持及び景観保全のため松くい虫防除（樹幹注入）を実施しました。（再掲）	市町等

15. 人材の確保・育成

- 佐久島の「島を美しくつくる会」、日間賀島の「日間賀島まちづくり協議会」、篠島の「篠島まちづくり会」などの地域活性化に取り組む活動を支援するとともに、他の離島地域との交流や都市部企業及び大学との連携、地域おこし協力隊による活動の支援など、多様な形で振興に寄与する人材の創出を図る。

対象地域	事業概要	実施主体
3 島	「あいちの離島関係人口持続化・深化事業」において、各島の地域課題解決のため、島と多様に関わり、島の活性化に寄与してくれる関係人口をマッチングし、島民との取組の支援を行いました。	県
佐久島	地域おこし協力隊を採用し、農業漁業の応援、観光の PR 活動、自然環境の維持、島民の生活支援などの各種地域協力をしながら、定住に繋げていく活動を行いました。（2024 年度任用隊員数：3 名）	市町等
佐久島	包括連携協定を締結している人間環境大学と、多様な分野で連携協力を進めました。	市町等

16. 離島の振興に関するその他の事項

- 安全安心で将来に渡って暮らし続けることができる地域づくりを進めるためには、市町の行財政基盤が安定していることが重要であるため、市町の行財政基盤が持続的に安定するよう支援を行う。

対象地域	事業概要	実施主体
3 島	市町村行政に対する支援の一つとして、県職員を派遣しました。(西尾市、南知多町へ派遣)	県

- 地域に出向き、住民の方の声をしっかりと聞いて、多岐にわたる愛知三島の課題に対して、部門を超えて横断的に連携することで、住民目線で実効性のある施策を立案するとともに、愛知県離島振興計画に位置付けた施策を積極的に推進する

対象地域	事業概要	実施主体
3 島	総務局において、庁内関係局や市町と連携し、愛知県離島振興計画に位置づけられた施策を展開するなど、愛知三島の課題解決や振興に資する取組を実施しました。	県
佐久島	佐久島振興課を設置し、部門を超えて横断する問題の調整・解決を図ったほか、愛知県離島振興計画に関連する事業の実施や佐久島の振興に関する取組を実施しました。	市町等

表 23 2024 年度離島振興事業の実績（内訳）

（単位：千円）

区分	事業名	事業主体	島名	事業量・内容	事業費	内 訳			
						国	県	市町	その他
交通・通信	西尾市渡船事業	西尾市	佐久島	市営渡船の運航費	219,833	0	0	219,833	0
	市町村土木事業費（離島航路）補助金	南知多町	日間賀島及び篠島	島民の航路運賃の一部補助	20,854	0	9,324	11,530	0
	定期航路事業者燃油価格高騰対策支援金	県	佐久島	燃油価格高騰の影響を受けながらも運航を継続している定期航路事業者を対象に、燃料費上昇分に相当する額を支援金として交付	4,774	0	4,774	0	0
	あいちモビリティイノベーションプロジェクト「空と道がつながる愛知モデル2030」物流ドローン社会実装モデル事業	県	佐久島	長期間の実証実験を行い、社会実装に向けた課題抽出・分析を実施	38,986	19,493	19,493	0	0
	計				284,447	19,493	33,591	231,363	0
産業	海浜広場環境整備事業	西尾市	佐久島	飛砂防止、飛砂除去等	3,318	0	0	3,318	0
	佐久島活性化事業	西尾市	佐久島	アートマネジメント委託	14,267	0	0	14,267	0
	漁港修築事業（機能保全）	県	篠島	岸壁・浮桟橋・道路補修・泊地浚渫	30,900	19,495	11,405	0	0
	漁港修築事業（機能強化）	県	篠島	防波堤補強	110,000	88,000	22,000	0	0
	漁港修築事業（漁村再生）	県	篠島	物揚場改良	80,000	48,000	29,600	2,400	0
	漁港修築事業（機能増進）	県	篠島	係留施設	24,000	14,400	9,600	0	0
	漁業集落環境整備事業費補助金	南知多町	日間賀島	南知多町が実施する漁業集落排水施設の長寿命化対策に対する補助	18,040	8,840	3,713	5,487	0
	漁場環境調査試験費	県	3 島	下水道の栄養塩増加運転試験の効果を検証するため、数値シミュレーションによる解析やこれからの管理のあり方を検討	10,507	0	10,507	0	0
	地域おこし協力隊事業	西尾市	佐久島	担い手不足による社会的協働生活等の維持	11,137	8,885	0	2,252	0
	計				302,169	187,620	86,825	27,724	0
生活環境・教育・文化	離島水道対策事業	西尾市	佐久島	離島分企業債償還元利等	63,560	0	0	63,560	0
	緑化樹木管理業務	西尾市	佐久島	散策道支障木等管理業務	2,020	0	0	2,020	0
	ごみ処理事業	西尾市	佐久島	ごみ収集業務	5,917	0	0	5,917	0
	焼却炉設置事業	西尾市	佐久島	構造基準適合型焼却炉	562	0	0	562	0
	海岸漂着物地域対策推進事業費補助金	西尾市	佐久島	海洋ごみ発生抑制対策事業	1,023	0	920	103	0
	海岸漂着物等地域対策推進事業費補助金	南知多町	日間賀島及び篠島	海岸漂着物等の回収・処理	6,710	0	6,187	523	0
	浦磯配水管布設替工事	南知多町	篠島	HPPE φ75 L=68.8m HPPE φ50 L= 3.1m HPPE φ75 L= 0.6m	5,227	0	0	5,227	0
	消火栓新設工事	南知多町	日間賀島	φ65 地上式消火栓 1 基	418	0	0	418	0
	ごみ処理事業	南知多町	日間賀島及び篠島	最終処分場維持管理委託、最終処分場汚水処理施設管理委託、事業系ごみ収集運搬委託	64,242	0	0	64,242	0
	ごみ処理事業	知多南部衛生組合	日間賀島及び篠島	可燃ごみ・分別収集・粗大ごみ収集運搬業務委託	91,507	0	0	91,507	0
	し尿処理事業	南知多町	日間賀島及び篠島	し尿処理運搬業務委託、浄化槽汚泥運搬委託	54,206	0	0	53,411	795
	浄化槽設置費補助金	県	篠島	浄化槽設置補助を行う市町村に対する補助	414,000	207,000	82,000	125,000	0
	漁業集落環境整備事業費補助金	南知多町	日間賀島	南知多町が実施する漁業集落排水施設の長寿命化対策に対する補助	18,040	8,840	3,713	5,487	0
	離島観光ごみ収集運搬業務	南知多町	日間賀島及び篠島	海水浴場漂着ごみ搬出	764	0	0	764	0
	佐久島活性化を図る事業	地域団体	佐久島	佐久島活性化事業補助金	2,000	0	0	2,000	0

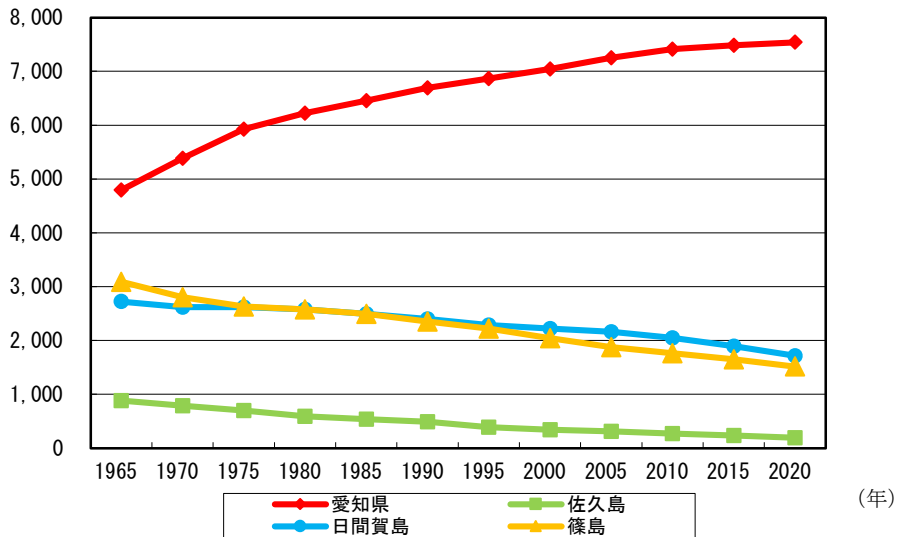
区分	事業名	事業主体	島名	事業量・内容	事業費	内 訳			
						国	県	市町	その他
生活環境・教育・文化	あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業交付金	地域団体	佐久島	アマモ場の再生活動	700	0	700	0	0
	アマモ再生移殖活動事業	西尾市	佐久島	アマモ場の再生活動	1,496	0	0	1,496	0
	アマモ場現況把握調査事業	西尾市	佐久島	アマモ場現況調査	499	0	0	499	0
	弁天サロン指定管理	西尾市	佐久島	弁天サロン指定管理委託	3,536	0	0	3,536	0
	クラインガルテン指定管理	西尾市	佐久島	クラインガルテン指定管理委託	4,069	0	0	4,069	0
	ふるさと出合いの創造推進事業費補助金	南知多町	日間賀島及び篠島	合同授業、講師を招聘しての体験活動、伝統文化保存活動への補助	405	0	200	205	0
	離島小中学校教育推進事業（しおかぜ通学）	西尾市	佐久島	小規模特認校通学者渡船料補助金	2,704	0	0	2,704	0
	へき地児童生徒援助費等補助金	西尾市	佐久島	離島高校生修学支援事業	432	216	0	216	0
	へき地児童生徒援助費等補助金	南知多町	日間賀島及び篠島	離島高校生修学支援事業	32,491	6,200	0	5,268	20,089
	市町村土木事業費（離島航路）補助金					0	934		
	市町村土木事業費（離島航路）補助金	南知多町	日間賀島	日間賀島から本土の南知多中学校へ通学する際の交通費の補助	4,491	2,063	1,085	1,343	0
へき地児童生徒援助費等補助金	南知多町	日間賀島	遠距離通学費	53,235	22,114	0	31,121	0	
計					834,254	246,433	95,739	471,198	20,884
医療・福祉	へき地医療対策費補助金（診療所運営費）	西尾市	佐久島	西尾市佐久島診療所の運営費補助	27,520	6,453	1,614	9,006	10,447
		厚生連	篠島	南知多町篠島診療所の運営費補助	45,167	4,648	1,162	6,000	33,357
	離島福祉サービス利用者助成	西尾市	佐久島	離島福祉サービス利用者への助成	1,085	0	0	1,085	0
	医療保険訪問看護サービス離島交通費助成金	南知多町	日間賀島及び篠島	医療保険訪問看護サービス利用時の海上交通費及び駐車料金の助成	74	0	0	74	0
	介護保険離島交通費助成金	南知多町	日間賀島及び篠島	介護サービス利用時の海上交通費及び駐車料金の助成	2,797	0	0	2,797	0
	離島診療所管理運営費補助金	南知多町	日間賀島	診療所の管理運営	1,322	0	0	1,322	0
	妊婦健診等離島交通費等支援事業	南知多町	日間賀島及び篠島	妊婦健診・分娩時の離島交通費の一部を助成	293	0	0	293	0
	健診・予防接種等離島交通費補助事業	南知多町	日間賀島及び篠島	保健センターで実施する健診・予防接種等の離島交通費を助成	81	0	0	81	0
	へき地児童生徒援助費等補助金	西尾市	佐久島	医師等派遣事業 心臓検診事業	991	86	0	905	0
		南知多町	日間賀島及び篠島		1,491	184	0	1,307	0
	計					80,821	11,371	2,776	22,870
消防・防災、国土保全	津波対策海岸特別緊急事業	県	佐久島	堤防補強工	19,999	10,999	9,000	0	0
			篠島		0	0	0	0	0
	漁港区域海岸改良事業	県	篠島	胸壁設計 陸間設計 胸壁工 物件補償	107,000	58,850	48,150	0	0
	小規模治山事業	県	日間賀島	治山工事	9,020	0	9,020	0	0
			篠島	治山工事	7,277	0	7,277	0	0
	南海トラフ地震等対策事業費補助金	県	日間賀島及び篠島	避難所機能向上事業	2,667	0	889	1,778	0
				避難誘導支援事業	891	0	267	536	88
				消防団活動支援事業	3,942	0	1,314	2,628	0
	森林病害虫防除事業	西尾市	佐久島	松くい虫防除	1,033	517	258	258	0
計					144,329	70,366	73,705	258	0
合計					1,646,020	535,283	292,636	753,413	64,688

※南海トラフ地震等対策事業費補助金は、南知多町全体の額であるため、合計額からは除く事とする。

■参考資料

1 人口の推移（1965 年～2020 年）

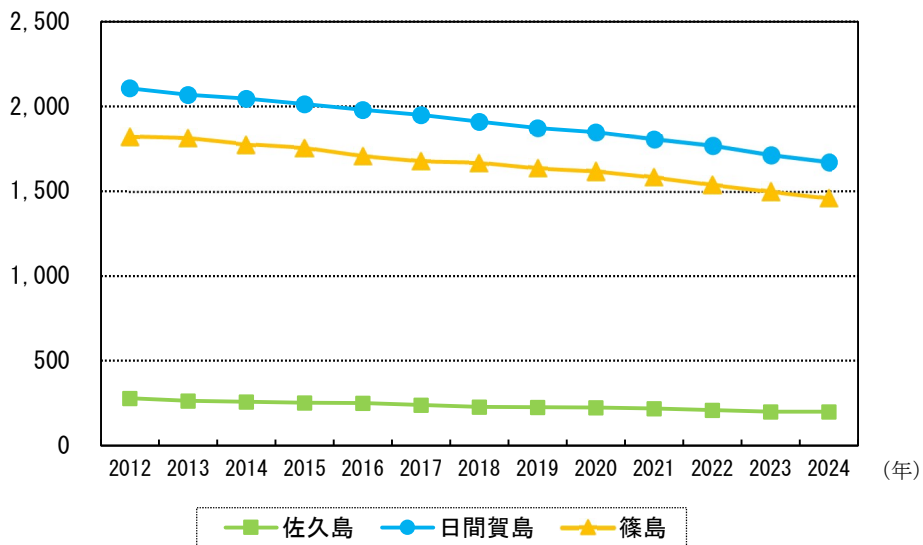
（人、但し愛知県においては千人）



資料：国勢調査（各年 10 月 1 日現在）

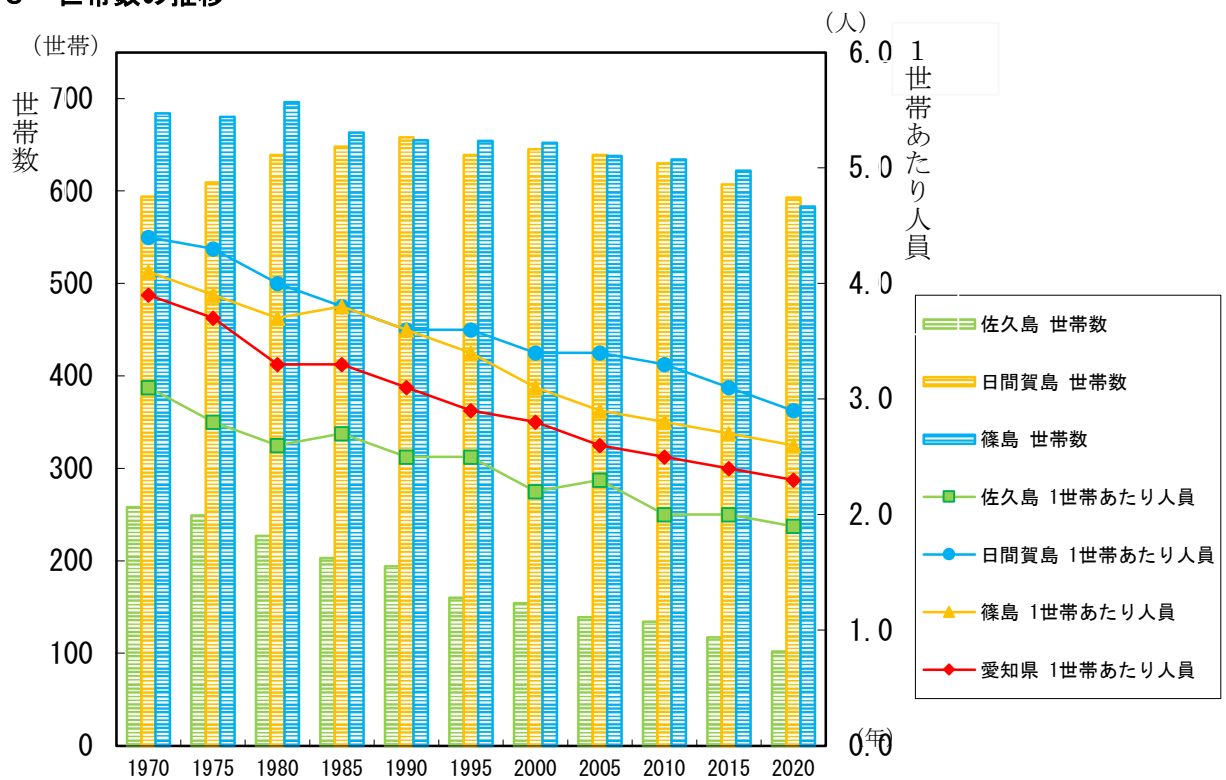
2 人口の推移（2012 年～2024 年）

（人）



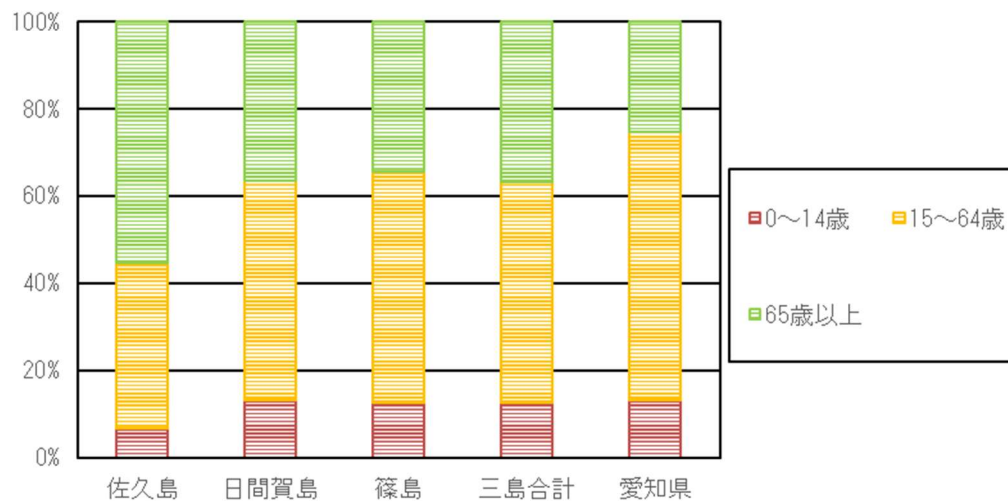
資料：住民基本台帳（佐久島は各年 4 月 1 日現在、日間賀島・篠島は各年 3 月 31 日現在）

3 世帯数の推移



資料：国勢調査（各年 10 月 1 日現在）

4 年齢階級別構成比



資料：国勢調査（2020 年 10 月 1 日現在）

5 人口及び世帯数の推移

区 分		1970	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020
佐久島	人口(人)	787	696	591	540	493	392	344	315	271	234	196
	増減率(%)	△ 11.2	△ 11.6	△ 15.1	△ 8.6	△ 8.7	△ 20.5	△ 12.2	△ 8.4	△ 14.0	△ 13.7	△ 16.2
	世帯数	258	249	227	203	194	160	154	139	134	117	102
	増減率(%)	△ 4.4	△ 3.5	△ 8.8	△ 10.6	△ 4.4	△ 17.5	△ 3.8	△ 9.7	△ 3.6	△ 12.7	△ 12.8
	1世帯あたり人員	3.1	2.8	2.6	2.7	2.5	2.5	2.2	2.3	2.0	2.0	1.9
日間賀島	人口(人)	2,622	2,618	2,576	2,493	2,397	2,285	2,221	2,164	2,051	1,896	1,716
	増減率(%)	△ 3.7	△ 0.2	△ 1.6	△ 3.2	△ 3.9	△ 4.7	△ 2.8	△ 2.6	△ 5.2	△ 7.6	△ 9.5
	世帯数	594	609	639	648	658	639	645	639	630	607	593
	増減率(%)	5.3	2.5	4.9	1.4	1.5	△ 2.9	0.9	△ 0.9	△ 1.4	△ 3.7	△ 2.3
	1世帯あたり人員	4.4	4.3	4.0	3.8	3.6	3.6	3.4	3.4	3.3	3.1	2.9
篠島	人口(人)	2,807	2,634	2,576	2,497	2,352	2,220	2,040	1,878	1,763	1,653	1,518
	増減率(%)	△ 9.2	△ 6.2	△ 2.2	△ 3.1	△ 5.8	△ 5.6	△ 8.1	△ 7.9	△ 6.1	△ 6.2	△ 8.2
	世帯数	684	680	696	663	655	654	652	638	634	622	583
	増減率(%)	△ 0.7	△ 0.6	2.4	△ 4.7	△ 1.2	△ 0.2	△ 0.3	△ 2.1	△ 0.6	△ 1.9	△ 6.3
	1世帯あたり人員	4.1	3.9	3.7	3.8	3.6	3.4	3.1	2.9	2.8	2.7	2.6
三島合計	人口(人)	6,216	5,948	5,743	5,530	5,242	4,897	4,605	4,357	4,085	3,783	3,430
	増減率(%)	△ 7.2	△ 4.3	△ 3.4	△ 3.7	△ 5.2	△ 6.6	△ 6.0	△ 5.4	△ 6.2	△ 7.4	△ 9.3
	世帯数	1,536	1,538	1,562	1,514	1,507	1,453	1,451	1,416	1,398	1,346	1,278
	増減率(%)	0.9	0.1	1.6	△ 3.1	△ 0.5	△ 3.6	△ 0.1	△ 2.4	△ 1.3	△ 3.7	△ 5.1
	1世帯あたり人員	4.0	3.9	3.7	3.7	3.5	3.4	3.2	3.1	2.9	2.8	2.7
一色町	人口(人)	23,940	24,760	27,413	27,017	26,809	24,819	24,340	24,068	23,825	23,231	22,671
	増減率(%)	3.6	3.4	10.7	△ 1.4	△ 0.8	△ 7.4	△ 1.9	△ 1.1	△ 1.0	△ 2.5	△ 2.4
	世帯数	5,517	5,822	5,998	6,109	6,219	6,306	6,541	6,744	7,141	7,368	7,730
	増減率(%)	10.1	5.5	3.0	1.9	1.8	1.4	3.7	3.1	5.9	3.2	4.9
	1世帯あたり人員	4.3	4.3	4.6	4.4	4.3	3.9	3.7	3.6	3.3	3.2	2.9
南知多町	人口(人)	27,705	27,413	27,017	26,809	25,954	24,846	23,250	21,909	20,549	18,707	16,617
	増減率(%)	△ 2.0	△ 1.1	△ 1.4	△ 0.8	△ 3.2	△ 4.3	△ 6.4	△ 5.8	△ 6.2	△ 9.0	△ 11.2
	世帯数	6,271	6,401	6,565	6,970	7,104	7,161	7,120	7,078	7,197	6,981	6,533
	増減率(%)	2.4	2.1	2.6	6.2	1.9	0.8	△ 0.6	△ 0.6	1.7	△ 3.0	△ 6.4
	1世帯あたり人員	4.4	4.3	4.1	3.8	3.7	3.5	3.3	3.1	2.9	2.7	2.5
愛知県	人口(千人)	5,386	5,924	6,222	6,455	6,691	6,868	7,043	7,255	7,411	7,483	7,542
	増減率(%)	12.2	10.0	5.0	3.7	3.7	2.6	2.5	3.0	2.2	1.0	0.8
	世帯数(千世帯)	1,383	1,619	1,878	1,985	2,173	2,356	2,548	2,759	2,934	3,064	3,238
	増減率(%)	22.7	17.1	16.0	5.7	9.5	8.4	8.1	8.3	6.3	4.4	5.7
	1世帯あたり人員	3.9	3.7	3.3	3.3	3.1	2.9	2.8	2.6	2.5	2.4	2.3

資料：国勢調査（各年10月1日現在）

※一色町は2011年4月1日に合併し、現在は西尾市一色町。

6 年齢別人口

(1) 5歳階級別

単位：人

区分	佐久島		日間賀島		篠島		三島合計	
	2015	2020	2015	2020	2015	2020	2015	2020
0～4歳	4	2	82	58	69	52	155	112
5～9	7	4	92	82	65	71	164	157
10～14	9	7	87	86	70	70	166	163
15～19	8	7	73	63	73	49	154	119
20～24	0	1	50	41	61	50	111	92
25～29	9	3	71	55	50	53	130	111
30～34	7	9	87	61	82	50	176	120
35～39	8	6	110	80	77	95	195	181
40～44	12	9	107	102	100	78	219	189
45～49	7	7	100	113	110	95	217	215
50～54	10	5	143	94	108	105	261	204
55～59	14	12	125	130	124	106	263	248
60～64	21	15	150	124	120	121	291	260
65～69	28	23	184	144	154	116	366	283
70～74	22	27	133	171	133	145	288	343
75～79	25	17	128	123	109	116	262	256
80～84	27	18	93	105	79	84	199	207
85～	16	23	73	84	69	62	158	169
不詳	0	1	8	0	0	0	8	1
合計 (不詳含む)	234	196	1,896	1,716	1,653	1,518	3,783	3,430

資料：国勢調査（各年10月1日現在）

(2) 3区分別

単位：人（愛知県は千人）（上段）、%（下段）

区分	佐久島		日間賀島		篠島		三島合計		愛知県	
	2015	2020	2015	2020	2015	2020	2015	2020	2015	2020
0～14歳	20	13	261	226	204	193	485	432	1,023	973
	8.5	6.7	13.8	13.2	12.3	12.7	12.8%	12.6%	13.7	13.3
15～64歳	96	74	1,016	863	905	802	2,017	1,739	4,619	4,502
	41.0	37.9	53.8	50.3	54.7	52.8	53.4%	50.7%	61.7	61.3
65歳以上	118	108	611	627	544	523	1,273	1,258	1,768	1,865
	50.4	55.4	32.4	36.5	32.9	34.5	33.7%	36.7%	23.6	25.4
合計 (不詳含む)	234	196	1,896	1,716	1,653	1,518	3,783	3,430	7,484	7,542

資料：国勢調査（各年10月1日現在）

7 人口の異動状況

単位：人

区 分		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
佐久島	出生数	1	1	1	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0
	死亡数	15	9	7	6	6	4	6	1	3	5	8	11	6	6	7
	自然増減	△14	△8	△6	△6	△6	△3	△5	△1	△2	△5	△7	△11	△6	△6	△7
	転入数	11	10	3	7	10	4	6	6	4	8	9	2	2	9	7
	転出数	8	11	13	5	10	3	7	10	2	7	7	3	4	12	14
	社会増減	3	△1	△10	2	0	1	△1	△4	2	1	2	△1	△2	△3	△7
	増減計	△11	△9	△16	△4	△6	△2	△6	△5	0	△4	△5	△12	△8	△9	△14
日間賀島	出生数	18	9	15	21	19	15	20	9	14	6	9	6	7	8	7
	死亡数	35	32	38	36	20	31	28	22	23	17	22	23	21	17	24
	自然増減	△17	△23	△23	△15	△1	△16	△8	△13	△9	△11	△13	△17	△14	△9	△17
	転入数	32	28	25	32	25	30	25	22	21	34	29	25	21	14	22
	転出数	61	53	41	40	56	48	47	48	50	51	51	47	62	45	50
	社会増減	△29	△25	△16	△8	△31	△18	△22	△26	△29	△17	△22	△22	△41	△31	△28
	増減計	△46	△48	△39	△23	△32	△34	△30	△39	△38	△28	△35	△39	△55	△40	△45
篠島	出生数	13	19	13	12	17	8	8	20	4	14	6	13	5	7	6
	死亡数	27	27	32	19	25	27	23	18	22	18	29	27	28	25	27
	自然増減	△14	△8	△19	△7	△8	△19	△15	2	△18	△4	△23	△14	△23	△18	△21
	転入数	27	23	46	30	24	30	31	34	27	35	40	38	39	34	38
	転出数	50	36	36	59	36	61	42	47	43	46	50	68	56	54	53
	社会増減	△23	△13	10	△29	△12	△31	△11	△13	△16	△11	△10	△30	△17	△20	△15
	増減計	△37	△21	△9	△36	△20	△50	△26	△11	△34	△15	△33	△44	△40	△38	△36
三島合計	出生数	32	29	29	33	36	24	29	29	19	20	16	19	12	15	13
	死亡数	77	68	77	61	51	62	57	41	48	40	59	61	55	48	58
	自然増減	△45	△39	△48	△28	△15	△38	△28	△12	△29	△20	△43	△42	△43	△33	△45
	転入数	70	61	74	69	59	64	62	62	52	77	78	65	62	57	67
	転出数	119	100	90	104	102	112	96	105	95	104	108	118	122	111	117
	社会増減	△49	△39	△16	△35	△43	△48	△34	△43	△43	△27	△30	△53	△60	△54	△50
	増減計	△94	△78	△64	△63	△58	△86	△62	△55	△72	△47	△73	△95	△103	△87	△95

資料：住民基本台帳（毎年4月1日～3月31日の人口異動）

8 産業別就業者数

単位：人

産業大分類	佐久島		日間賀島		篠島		三島合計	
	2015	2020	2015	2020	2015	2020	2015	2020
総数	123	96	999	931	856	823	1,978	1,850
第1次産業	52	35	384	338	382	340	818	713
農業	1	1	0	0	0	0	1	1
林業	0	0	0	0	0	0	0	0
漁業	51	34	384	338	382	340	817	712
第2次産業	5	4	57	58	101	145	163	207
鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	5	3	18	12	28	27	51	42
製造業	0	1	39	46	73	118	112	165
第3次産業	66	53	548	486	370	307	984	846
電気ガス・熱供給・水道業	0	0	0	0	0	2	0	2
情報・通信業	0	1	1	0	0	0	1	1
運輸業・郵便業	3	3	25	27	21	26	49	56
卸売業・小売業	7	4	102	86	118	73	227	163
金融業・保険業	0	0	3	6	3	4	6	10
不動産業・物品賃貸業	2	4	0	3	0	0	2	7
学術研究・専門・技術サービス業	1	0	0	0	0	0	1	0
宿泊業・飲食サービス業	37	27	296	270	107	98	440	395
生活関連サービス業・娯楽業	2	2	18	10	18	11	38	23
教育・学習支援業	4	3	25	27	27	30	56	60
医療福祉	2	2	26	20	27	23	55	45
複合サービス業	4	2	34	23	24	15	62	40
サービス業 (他に分類されないもの)	2	3	7	10	17	18	26	31
公務 (他に分類されないもの)	2	2	11	4	8	7	21	13
分類不能	0	4	10	49	3	31	13	84

資料：国勢調査（2020年10月1日現在）

9 観光地点等入込客数、宿泊収容能力の推移

区分	年	観光地点等入込客数（千人）					宿泊収容能力（人）				
		1月～	4月～	7月～	10～	計	旅館・ホテル		民宿		計
		3月	6月	9月	12月		軒数		軒数		
佐久島	2015	12.4	29.9	45.2	22.2	109.7	60	2	165	5	225
	2016	15.4	32.0	44.0	22.6	114.0	60	2	165	5	225
	2017	15.5	33.6	43.9	18.5	111.5	60	2	140	4	200
	2018	16.0	33.5	37.6	19.5	106.6	60	2	140	4	200
	2019	19.3	39.9	35.3	14.2	108.7	60	2	140	4	200
	2020	16.1	10.2	31.6	21.7	79.5	60	2	140	4	200
	2021	14.0	21.8	26.4	23.2	85.3	60	2	140	4	200
	2022	13.7	28.2	26.2	17.4	85.5	60	2	140	4	200
	2023	12.6	25.2	23.2	16.3	77.3	60	2	140	4	200
	2024	11.0	23.8	18.0	15.3	68.1	60	2	140	4	200
日間賀島	2015	27.5	64.1	133.1	35.9	260.5	1,021	15	1,454	47	2,475
	2016	27.2	67.4	154.9	36.6	286.2	1,035	15	1,378	46	2,413
	2017	24.8	59.1	132.9	31.3	248.1	1,040	15	1,316	45	2,356
	2018	25.9	55.7	113.2	38.3	233.1	1,000	15	1,250	45	2,250
	2019	26.5	60.0	95.2	38.0	219.8	1,007	15	1,225	45	2,232
	2020	26.2	38.4	71.5	34.6	170.7	957	14	1,154	44	2,111
	2021	19.8	42.3	62.2	39.5	163.9	957	14	1,154	44	2,111
	2022	22.4	52.5	81.2	27.8	183.9	957	14	1,026	39	1,983
	2023	22.2	33.6	83.2	25.1	164.1	874	14	888	38	1,762
	2024	15.4	36.0	65.2	23.4	140.0	874	14	888	38	1,762
篠島	2015	22.8	55.8	113.3	31.2	223.1	545	12	568	22	1,113
	2016	22.4	58.6	114.4	32.0	227.4	536	12	580	22	1,116
	2017	20.3	51.9	105.3	27.6	205.1	546	12	576	21	1,122
	2018	21.5	49.6	85.3	33.6	189.9	488	12	523	20	1,011
	2019	21.6	53.0	85.3	33.1	192.9	507	12	506	20	1,013
	2020	21.8	34.1	63.8	30.1	149.8	502	12	454	18	956
	2021	16.5	40.3	54.7	34.9	146.4	502	12	454	18	956
	2022	19.5	48.5	65.3	24.5	157.8	502	12	454	18	956
	2023	21.0	30.4	68.6	22.8	142.8	356	11	387	17	743
	2024	14.1	32.7	56.2	21.2	124.2	356	11	387	17	743
三島合計	2015	62.7	149.7	291.5	89.3	593.3	1,626	29	2,187	75	3,813
	2016	65.0	158.0	313.3	91.3	627.6	1,631	29	2,123	74	3,754
	2017	60.6	144.7	282.0	77.4	564.7	1,646	29	2,057	72	3,703
	2018	63.3	138.8	236.1	91.4	529.6	1,548	29	1,938	71	3,486
	2019	67.4	153.0	215.8	85.3	521.4	1,574	29	1,876	70	3,450
	2020	64.1	82.7	166.9	64.7	378.4	1,519	28	1,753	67	3,272
	2021	50.3	104.4	143.3	97.5	395.5	1,519	28	1,753	67	3,272
	2022	55.7	129.1	172.6	69.7	427.2	1,519	28	1,620	61	3,139
	2023	55.7	89.1	166.2	64.2	384.2	1,290	27	1,415	59	2,705
	2024	40.1	92.4	140.0	59.8	332.3	1,290	27	1,415	59	2,705

資料：観光地点等入込客数：愛知県観光コンベンション局観光振興課提供データをもとに地域振興室作成
 宿泊収容能力：西尾市、南知多町(各年3月31日現在)

10 社会生活環境施設の整備状況

施設区分	佐久島	日間賀島	篠島	施設区分	佐久島	日間賀島	篠島
生活環境				社会教育			
上水道	○	○	○	公民館	×	○	×
下水道	×	×	×	離島開発総合センター	○	×	○
漁業集落排水処理施設	×	○	×	文化交流施設	○	×	×
ごみ処理施設	×	×	×	集会所	×	○	○
不燃物埋立地	×	○	×	資料館	×	○	×
し尿処理施設	×	×	×				
合併処理浄化槽	○	○	○				
医療・福祉				その他			
診療所	○	○	○	市役所出張所	○	×	×
救急艇	×	×	×	サービスセンター	×	○	○
老人福祉施設	×	×	×	警察駐在所	○	○	○
児童福祉施設	○	○	○	郵便局	○	○	○
学校教育				消防施設	○	○	○
小学校	-	○	○	火葬場	×	×	×
体育館	-	○	○	防災センター	×	○	○
プール	-	×	○				
中学校	-	×	○				
体育館	-	×	○				
プール	-	×	×				
義務教育学校	○	-	-				
体育館	○	-	-				
プール	×	-	-				
高校	×	×	×				

資料：西尾市、南知多町（2025年4月1日現在）

注：ごみ及びし尿は、各島とも本土側へ搬出し、佐久島は西尾市で、日間賀島と篠島は、知多南部衛生組合及び知多南部広域環境組合で処理している。

11 西尾市及び南知多町の財政状況（2024 年度決算）

(1) 歳入

単位：百万円

財源別	西尾市		南知多町	
		構成比(%)		構成比(%)
地方税	31,419.2	40.0	2,082.2	21.1
地方交付税	2,719.1	3.5	2,842.2	28.9
国庫支出金	11,605.9	14.8	1,189.3	12.1
県支出金	4,622.7	5.9	641.6	6.5
地方債	8,059.0	10.3	468.9	4.8
その他	20,070.0	25.5	2,618.8	26.6
計	78,495.9	100.0	9,843.2	100.0

(2) 歳出

単位：百万円

財源別	西尾市		南知多町	
		構成比(%)		構成比(%)
議会費	389.8	0.5	81.2	0.9
総務費	9,363.3	12.4	1,962.6	20.8
民生費	29,461.4	39.1	2,670.3	28.4
衛生費	9,340.5	12.4	912.5	9.7
労働費	55.2	0.1	3.2	0.0
農林水産費	1,577.0	2.1	476.4	5.1
商工費	1,359.6	1.8	1,071.0	11.4
土木費	4,983.1	6.6	217.1	2.3
消防費	3,870.7	5.1	484.7	5.1
教育費	11,617.1	15.4	729.2	7.7
災害復旧費	26.4	0.0	25.8	0.3
公債費	3,401.0	4.5	780.5	8.3
諸支出金	0.8	0.0	0.0	0.0
計	75,445.9	100.0	9,414.5	100.0

(3) 備考

区分	西尾市	南知多町
積立金現在高	12,322 百万円	3,398 百万円
地方債現在高	35,958 百万円	6,081 百万円
財政力指数(3ヶ年平均)	0.94	0.46
人口(2020 国調)	169,046 人	16,617 人
行政面積(2023.7.1)	161.22 k m ²	38.23 k m ²

資料：西尾市、南知多町（地方財政状況調査）

12 島内公共施設一覧

島 名	種 別	名 称	所 在 地	管理者	電話番号
佐 久 島	市役所出張所	西尾市佐久島出張所	西尾市一色町佐久島	西 尾 市	0563-
			掛梨 40		79-1001
	消防分遣所	西尾市消防署佐久島分遣所	掛梨 40	西 尾 市	78-2011
	警察駐在所	西尾警察署佐久島駐在所	掛梨 50-1	愛 知 県	57-0110
	郵便局	佐久島郵便局	西屋敷 37	日本郵便	79-1042
	レクリエーション	西尾市佐久島海浜広場	前田 66	西 尾 市	
	医療施設	西尾市佐久島診療所	掛梨 44	西 尾 市	79-1414
	児童福祉施設	市立佐久島保育園	掛梨 40	西 尾 市	79-1001
	義務教育学校	市立佐久島しおさい学校	影無 50	西 尾 市	79-1014
	社会教育関係施設	西尾市佐久島開発総合センター	掛梨 40	西 尾 市	79-1001
	文化交流施設	西尾市佐久島弁天サロン	西側 41	西 尾 市	78-2001
	宿泊滞在型農業体験施設	西尾市佐久島クライנגアルテン	西平地 61-1	西 尾 市	79-1223
	渡船待合施設	西港取扱所	波ヶ崎 84	西 尾 市	79-1002
	渡船待合施設	東港取扱所	東屋敷 88	西 尾 市	79-1006
日 間 賀 島	サービスセンター	南知多町日間賀島サービスセンター	南知多町大字	南知多町	0569-
			日間賀島字永峯 18		68-2001
	警察駐在所	半田警察署日間賀島駐在所	浪太 74-4	愛 知 県	21-0110
	郵便局	日間賀郵便局	新井浜 43-1	日本郵便	68-2341
		東日間賀簡易郵便局	北地 19	日本郵便	68-2022
	衛生施設	日間賀島環境衛生センター	浜側 70	南知多町	68-2857
		日間賀島浄化センター	浜側 71	南知多町	68-3710
	医療施設	日間賀島診療所	東側 123	公設民営	68-2345
	高齢者福祉施設	日間賀島西老人憩の家	新井浜 68	区	
		日間賀島東老人憩の家	里中 30	区	
	児童福祉施設	町立日間賀保育所	三ツ林 7-7	南知多町	68-2636
	小学校	町立日間賀小学校	永峯 11	南知多町	68-2204
	文化施設	日間賀島公民館	永峯 18	南知多町	68-2001
	防災施設	日間賀島防災センター	西永峯 28	南知多町	68-2119
	渡船待合施設	日間賀島渡船ターミナル	西浜 48	観光協会	68-2388
篠 島	サービスセンター	南知多町篠島サービスセンター	南知多町大字篠島字	南知多町	0569-
			浦磯 3-3		67-2001
	警察駐在所	半田警察署篠島駐在所	堂山 53-21	愛 知 県	21-0110
	郵便局	南知多篠島郵便局	神戸 41	日本郵便	67-2490
	商業施設	篠島水産物地方卸売市場	浦磯 42	篠島漁協	67-3010
	衛生施設	篠島環境衛生センター	棚橋 6-24	南知多町	67-2755
	医療施設	知多厚生病院付属篠島診療所	神戸 301-1	公設民営	67-2267
	高齢者福祉施設	篠島老人憩の家	神戸 302-6	区	67-2823
	児童福祉施設	篠島保育園	照浜 27	社福法人	67-2136
	小学校	町立篠島小学校	南風崎 7	南知多町	67-2004
	中学校	町立篠島中学校	汐味 1-5	南知多町	67-2046
	社会教育関係施設	南知多町篠島開発総合センター	浦磯 3-3	南知多町	67-2861
	防災施設	篠島防災センター	東山 7	南知多町	67-3119
	渡船待合施設	篠島渡船ターミナル	浦磯 1-1	観光協会	67-3700

資料：西尾市、南知多町

13 島の歴史（明治以降）

(1) 佐久島

西暦	年号	政治・経済・社会	教育・文化
明治			
1868	元	佐久島の石高 585 石	佐久学校を設置 佐久島尋常高等小学校と改称
1872	5	愛知県成立、第 8 大区に属す	
1878	6	佐久島村となる	
1884	17		
1899	32	私設消防組織設置 佐久島郵便局開局 佐久島漁業組合創設 佐久島信用組合創設	
1901	34		
1902	35		
1903	36		
1907	40		
1908	41	当時の人口 1,454 人（245 世帯）	
大正			
1926	15		佐久島尋常小学校と改称
昭和			
1934	9	佐久島郵便局で電信業務を開始	佐久島村立小学校と改称 佐久島村立佐久島中学校新設
1935	10	当時の耕地面積 田 6.7ha 畑 70.5ha	
1936	11	この頃、佐久島駐在所設置される	
1943	18	愛知商船経営の航路が運航	
1947	22	佐久島農業協同組合が開設 海底送電ケーブルで知多半島より送電	
1952	27	佐久島村営の航路（佐久島～吉田間）が運航開始	
1953	28	佐久島漁港が第 2 種漁港に指定される	
1954	29	佐久島村が一色町に合併 一色町営の航路が運航開始 佐久島～一色間に航路が設けられる	
1956	31	佐久島火葬場完成	
1957	32	離島振興対策実施地域に指定される	
1958	33	三河湾国定公園に指定される	八剣神社及び神明社の本殿、阿弥陀寺如意輪観音菩薩像 県文化財に指定される
1959	34	伊勢湾台風の被害甚大	
1960	35	送水船による簡易水道が完成	
1964	39		
1966	41	愛知県佐久島青少年キャンプセンター完成	
1967	42	名古屋大学空電研究所開設	
1968	43	南知多県立自然公園に指定される	
1972	47	愛知三島水道企業団発足	
1973	48	愛知三島水道企業団による水道工事完了(海底送水となる)	
1975	50	ごみ処理施設完成	佐久島保育所開所 八日講まつり及び山の神塚古墳、町文化財に指定される
1976	51	電話が自動式となる へき地患者輸送艇配備	
1977	52		
1978	53	知事、愛知三島視察 診療所開設	
1979	54	国土庁長官視察	
1980	55	一色町観光協会佐久島支部発足	
1981	56	不燃物埋立処分地完成	
1982	57	佐久島診療所に新型の X 線撮影装置導入される	
1983	58	町営渡船吉田航路 10 月 1 日から休止	
1984	59	町営渡船一色航路に 4 月 1 日から高速船「さちかぜ」就航 佐久島合併 30 年（昭和 29 年 8 月 1 日合併） 町営渡船吉田航路（佐久島～吉田間）廃止	佐久島生活環境保全林完成（散策道等） 佐久島ゲートボール場完成 古代製塩場遺跡、町文化財に指定される 佐久島合併 30 周年記念・第 15 回文化祭実施
1986	61	佐久島海釣りセンターが 10 月 18 日にオープン	
1987	62	町営渡船に 4 月 1 日から高速船「第二さちかぜ」就航	

西暦	年号	政治・経済・社会	教育・文化
平成			
1989	元	不燃物埋立処分場完成	
1990	2	国土利用計画法による監視区域に指定される 知事、愛知三島視察 佐久島漁港（入ヶ浦）完成	
1991	3	三河湾地域リゾート整備構想重点整備地区に指定される	
1992	4	入ヶ浦漁港改修事業竣工	
1996	8	国土利用計画法による監視区域が解除される 弁天海港アート・アンド・フィッシャーマンリレーショ ン企画構想策定	文化フォーラム「芸術性豊かな美しい島に向かって」開 催
1997	9	佐久島火葬場改築 弁天海港朝市が始まる	日間賀島漁協・篠島漁協と連携し、第 1 回漁業フォーラ ム「海と生きる命ー女と男ー」開催
1998	10	佐久島診療所にテレビ会議システム設置	弁天サロンオープニングフェスティバル及び第 2 回漁業 フォーラム開催 佐久島弁天サロン完成
1999	11		アートフェスティバル・サマー「游神の宴」開催 歴史探訪ウォークラリーin 佐久島開催 弁天海港佐久島第 2 回アートフェスティバル開催
2000	12	開発総合センター一部改修（デイサービス事業開始） 佐久島保育園休園（～平成 14 年度）	佐久島写真撮影会「冬の風物詩を写す会」 アートフェスティバル・サマー「佐藤陽子ヴァイオリン コンサート」 ネイチャーハイク 2000in 佐久島 弁天海港佐久島第 3 回アートフェスティバル開催 佐久島写真撮影会「落陽の日々」 三河・佐久島アートプラン 21「祭りとアートに出会う 島」スタート 佐久島体験 2001
2001	13	新造船「はまかぜ」就航 小牧市立応時中学校佐久島野外生活体験始まる 愛知三島水道企業団解散（離島水道事業を南知多町水道 事業に一元化）	
2002	14	佐久島診療所新築 4 月 1 日オープン	佐久島体験 2002
2003	15	愛知県青少年キャンプセンター廃止（3 月 31 日） 「島を美しくつくる会」が全国地域づくり推進協議会会 長賞を受賞 佐久島保育園を開発総合センターで開園	小規模特認校制度「しおかぜ通学」始まる 佐久島体験 2003 佐久島小中学校屋外運動場夜間照明施設整備
2004	16	診療所医師住宅完成（1 月 30 日） 海上自衛隊掃海艇「さくしま」寄港（11 月 29 日）	佐久島体験 2004
2005	17		佐久島体験 2005
2006	18	佐久島西・東地区 大型生ごみ処理機 2 基設置	佐久島体験 2006
2007	19	全国離島振興協議会及び(財)日本離島センター主催で平 成 19 年度支部事務局長会議が開催（弁天サロン）	佐久島体験 2007
2008	20		「にほんの里 100 選」に選ばれる 佐久島体験 2008
2009	21		「島の宝 100 景」に「三河湾の黒真珠」が選ばれる 佐久島体験 2009 あいちアートの森 佐久島プロジェクト「佐久島・雛の まつり」 佐久島体験 2010
2010	22	知事佐久島視察（2 月 27 日） 渡船場全面移転、「佐久島行船のりば」共用開始	
2011	23	幡豆 3 町（幡豆町・一色町・吉良町）が西尾市と合併 知事、愛知三島視察（10 月 10 日）	佐久島体験 2011
2012	24	佐久島クラインガルテン開園 「島を美しくつくる会」が愛知県地域づくり表彰を受賞 「島を美しくつくる会」が全国地域づくり表彰特別賞を 受賞	佐久島体験 2012
2013	25	新造船「第 3 さちかぜ」就航 「島を美しくつくる会」が全国離島振興協議会会長特別 表彰を受賞	佐久島体験 2013
2014	26		佐久島体験 2014
2015	27	津波監視カメラ設置	佐久島体験 2015
2016	28	西尾市消防署佐久島分遣所設置	佐久島体験 2016
2017	29	西尾警察署佐久島駐在所新築移転（3 月 13 日）	佐久島体験 2017
2018	30	「島を美しくつくる会」が全国豊かな海づくり大会 漁場・環境保全部門 環境大臣賞を受賞 佐久島保育園 休園	佐久島体験 2018 映画「ねことじいちゃん」の撮影地として起用される。 西港公衆トイレ改修整備

西暦	年号	政治・経済・社会	教育・文化
令和			
2019	元	情報通信で光回線が接続	義務教育学校設立
2020	2	「島を美しくつくる会」があいち・なごや生物多様性 ベストプラクティスを受賞	佐久島体験 2019 佐久島体験 2020
2021	3	地域おこし協力隊開始 スマートアイランド推進実証調査業務 (パワースクーター自動運転及び太陽光発電を活用した 電気自動車実証調査)	佐久島体験 2021
2022	4	佐久島保育園再開	佐久島体験 2022
2023	5	グリーンスローモビリティ導入実施調査	佐久島体験 2023
2024	6	第2回グリーンスローモビリティ導入実施調査	佐久島体験 2024
	11	第二はまかぜ就航(11月5日) 離島振興懇談会初開催(11月11日)(知事出席)	
2025	1	アマモ場再生活動の取組みが、Jブルークレジット®と して認証・発行	

(2) 日間賀島

西暦	年号	政治・経済・社会	教育・文化
明治			
1869	2	名古屋藩に属す	神明八王子宮を日間賀神社と改称 鳴鳳学校を大光院に創設 日間賀学校と改称 簡易小学日間賀学校と改称 日間賀尋常小学校と改称 日間賀尋常小学校に補修科を設置 この頃小学校運動場拡張 呑海院再建 日間賀尋常小学校校舎を現在地に新築
1870	3	三軒の押送り船	
1871	4	額田郡第1大区に属す	
1872	5	愛知県成立、第7大区に属す	
1873	6		
1876	9	師崎村、篠島村と合併し鴻崎村となる	
1877	10		
1881	14	鴻崎村が分かれ日間賀島村となる	
1887	20	共同販売所を設立	
1888	21	角石航路標識建設	
1889	22	日間賀島村役場を大光院に設置	
1890	23	この頃水害で小戸浜の家が流される	
1891	24	水産社が西里に設立（魚類の販売を行う）	
1892	25		
1895	28	この頃「大福丸」という発動機船運航	
1896	29	消防組設立	
1901	34	呑海院全焼、新井浜、小戸浜、久湊港の石垣工事 この頃から養蚕開始	
1902	35	日間賀郵便受取所を開設	
1903	36	東西の部落に漁業組合販売所が設立	
1904	37		
1905	38	日間賀郵便受取所が日間賀郵便局に改称	
1906	39	鈴木甚助氏ら大阪商船から汽船を借用、運送開始	
1908	41	島の養蚕盛んになる	
1911	44		
大正			
1912	元	日間賀漁業協同組合設立 役場が小戸地 30 番地から新井浜 68 番地に移転	日間賀尋常高等小学校と改称
1913	2	この頃日間賀島駐在所設置	
1914	3	北川仲造氏が漁船に初の発動機取り付け 東西に保証責任漁業協同組合を設立	
1919	8	有松よりタテしぼり導入	
1925	14		
1926	15	養蚕組合設立	
昭和			
1930	5	知多湾電気株式会社による送電開始、電燈点燈 日間賀～師崎間に海底電話線敷設 電信・電話業務取扱いが始まる	日間賀国民学校と改称 日間賀島村立日間賀小学校と改称 日間賀島村立日間賀中学校創設 日間賀中学校校舎新築
1932	7	里中、久湊、小戸浜、新井浜、西浜、北浜などの浚渫護岸工事施工	
1936	11	電話回線が9本に増設	
1940	15	役場が永峯 19 に移転	
1941	16	久湊港修築工事、新井浜護岸工事	
1942	17	日間賀村農会が設立され役場内に事務所設置	
1943	18	東西漁協が合併し日間賀島村漁業組合が発足、役場内に事務所設置	
1944	19	日間賀島村農業会設立、日間賀島村漁業会設立	
1947	22	中部発電株式会社による海底送電ケーブルで知多半島から送電開始	
1948	23	日間賀島村農業協同組合と改称、漁業会市場を併設	

西暦	年号	政治・経済・社会	教育・文化
1949	24	漁業協同組合が東西に分離	日間賀中学校校舎増築
1951	26	農業協同組合設立、農業協同組合支所が新井浜に開設 東西1号線の整備	
1952	27	日間賀漁港が第2種漁港に指定	
1953	28	台風13号により被害甚大	
1955	30	約千本の松を社御座に植林	
1956	31	農協支所が廃止	
1957	32	離島振興対策実施地域に指定される	島内にテレビが入る
1958	33	三河湾国定公園に指定される	
1959	34	伊勢湾台風による被害甚大	日間賀小学校校舎災害復旧工事
1960	35		北地古墳群（4号墳、6号墳）発掘調査
1961	36	日間賀島村、合併により南知多町となる	日間賀中学校校舎新築 新井浜貝塚発掘調査
1962	37	簡易水道が完成（海底送水管により愛知用水通水）	上海2号墳発掘調査
1964	39		日間賀中学校校舎改築
1965	40		日間賀給食センター竣工
1967	42	島内の民宿業始まる	
1968	43	東西の漁業協同組合が合併し日間賀島漁業協同組合となる 海苔養殖始まる	
1970	45	日間賀地区診療所新築 簡易水道拡張工事完了 電話自動化	日間賀小学校校舎改築竣工
1972	47	愛知三島水道企業団発足	
1973	48	愛知三島水道企業団による広域簡易水道増補改良事業竣工 フェリー「オリーブ」就航	日間賀保育所開所
1974	49	農用地開発事業開始 ごみ焼却場完成（処理能力4t／日） 日間賀島西老人憩の家開設	
1976	51	日間賀島東老人憩の家開設	日間賀小、中学校へき地集会所兼屋内運動場完成 北地古墳群（5号墳、8号墳）発掘調査
1978	53	知事、愛知三島視察 団体営農地開発事業日間賀地区完了、面積15.4ha 中部電力が高圧海底ケーブル敷設	北地古墳群（11号墳、14号墳）発掘調査
1979	54	し尿処理施設完成（処理能力4kl／日） 定期航路に高速船「海燕」が導入される	全国へき地教育研究大会の開催（日間賀中学校） 日間賀島公民館完成
1980	55	不燃物埋立処分地完成	県立内海高校日間賀島分校開校
1982	57	日間賀島農協、南知多農協と合併	
1983	58	初の本格的な防災訓練実施 日間賀島西老人憩の家竣工 町防災訓練（日間賀小学校）	第1回日間賀島さわやかジョギング大会
1984	59	海底送水管一部布設替 フェリー乗船場移転、フェリー「はまつばき」就航	日間賀中学校特別教室完成 内海高校日間賀島分校体育館完成
1985	60	海底送水管布設替完了	北地古墳群（9号墳）発掘調査
1987	62		日間賀神社のお神楽が30年ぶりに復活
平成			
1989	元	日間賀島のり加工団地開業（新井浜港）	日間賀島資料館開館
1990	2	国土利用計画法による監視区域に指定 知事、愛知三島視察 東浜海水浴場「サンライズビーチ」オープン	
1991	3	三河湾地域リゾート整備構想重点整備地区に指定 西浜海水浴場「サンセットビーチ」オープン	
1992	4	ごみ処理施設完成（処理能力5t／日）	ふるさとづくり事業によるタコのモニュメント完成
1993	5	不燃物埋立処分地完成（埋立容量26,625 m³）	

西暦	年号	政治・経済・社会	教育・文化
1994	6	県内離島初の信号機点灯 わかしやち国体炬火採火式（サンライズビーチ）	
1995	7	日間賀島おみやげセンター完成	
1996	8	国土利用計画法による監視区域解除	
1997	9		新井浜貝塚発掘調査
1998	10	ごみの分別収集開始	
2000	12	日間賀島診療所完成（4月より業務開始）	
2001	13	日間賀島生きがい活動支援センター設置 愛知三島水道企業団解散（離島水道事業を南知多町水道事業に一元化）	県立内海高校日間賀島分校閉校
2002	14	日間賀島し尿処理施設閉鎖（本土側衛生センターへ搬送開始） 行政情報システム整備事業により住民用端末設置	学校給食調理施設を本土側の施設に統合
2003	15	漁業集落排水施設一部供用開始（8月より）	第1回市民サイクルパラダイス in 日間賀島
2004	16	フェリー「しまゆり」就航 国土交通省による「離島ツアー」実施	北地古墳群出土漁具が町文化財に指定される
2005	17	役場支所を廃止し日間賀島サービスセンターを開設 師崎港駐車場供用開始	
2008	20	国土交通省「地域いきいき観光まちづくり 2008」滞在力のあるまちに選定	サンセットビーチに時計台建造
2009	21		「島の宝 100 景」に「ほうろく祭り」が選ばれる 子育て支援センター「ちびっこひろば」開設 ひまかドルフィンキッズ発足
2010	22	海底送水管一部布設替（南ルート）完了	
2011	23	知事、愛知三島視察（10月10日）	
2012	24	全国離島振興協議会支部事務局長会議開催 日間賀島ボランティアガイド発足	
2013	25	日間賀島駐在所の移転	
2014	26	日間賀島配水池（No.2）供用開始	
2015	27	日間賀島防災拠点施設建設工事着工	
2016	28	日間賀島防災拠点施設建設工事竣工	
2019	31	日間賀島渡船ターミナル（ひまぽ）竣工	
令和			
2019	元	国家戦略特区制度を活用した「ぐるりーパス」運行開始	
2020	2	情報通信で光回線が接続 スマートアイランド推進実証調査業務 （グリーンスローモビリティ実証調査）	スマートアイランド推進実証調査業務 （遠隔授業の実証調査）
2022	4	日間賀島生きがい活動支援センター廃止	
2023	3		町立日間賀中学校閉校

(3) 篠島

西暦		年号	政治・経済・社会	教育・文化
明治				
1869	2	名古屋藩に属す	龍門学校開校 篠島小学校と改称	
1871	4	額田県第1大区に属す		
1872	5	愛知県成立、第7大区に属す		
1873	6			
1874	7	当時戸数 267 戸、人口 1,066 人（男 574 人、女 432 人）		
1876	9	師崎村、日間賀島村と合併し鴻崎村となる		
1881	14	鴻崎村が分かれ篠島村となる		
1887	20	この頃「おしょくり船」（生鮮輸送船）経営される		
1892	25			
1898	31	亀崎衣ヶ浦汽船 k k 「豊勢丸」貨客定期航路に就航		
1899	32		古城館が設立される	
1900	33	県水産試験場本場が篠島村に移転、製造工場新設	小学校令により篠島学校設置	
1902	35	篠島村郵便受取所開設		
1903	36	県水産試験場に製造工場を増築し、缶詰製造機等を完備		
1905	38	篠島村郵便受取所が篠島郵便局と改称		
1907	40	この頃篠島駐在所が設置される		
1908	41			
1911	43	篠島村漁業組合設立登記公告		
大正				
	初期	当時有松よりタテしぼりを導入	山弘法巡り始まる 小学校に水産補修学科を併設	
1913	2			
1918	7	篠島電気株式会社による送電開始		
1919	8	県水産試験場本場が県庁に移転、製造設備を篠島に置く		
1920	9	師崎～篠島間の無線電信開通		
1922	11	県水産試験場が篠島の製造工場を廃止		
1924	13	台風被害甚大		
昭和				
1927	2	役場改築	篠島国民学校と改称 篠島村立篠島小学校と改称、篠島村立篠島中学校創立	
1933	8	篠島漁港完成		
1934	9	海底電話線敷設、加入者 12 名		
1937	12	シラス漁始まる		
1941	16			
1947	22	中部配電株式会社による海底ケーブルで知多半島（片名）より送電開始		
1948	23			
1949	24	篠島漁業協同組合設立		
1952	27	篠島漁港が第2種漁港に指定される 遠洋漁業開始		
1953	28	台風 13 号による被害甚大		
1957	32	離島振興対策実施地域に指定される	篠島中学校校舎を現在地に新築し移転	
1958	33	三河湾国定公園に指定される		
1959	34	伊勢湾台風による被害甚大		
1961	36	篠島村、合併により南知多町となる		
1962	37	簡易水道完成（海底送水管により愛知用水通水）		
1963	38			
1964	39			
1968	43	篠島支所竣工		
1969	44	ごみ焼却場完成(処理能力 4t／日)		

西暦	年号	政治・経済・社会	教育・文化
1970	45	ワカメ養殖始まる 電話自動化 篠島区診療所新築、篠島消防詰所併設 篠島地区老人センター開設 簡易水道拡張工事完了 篠島漁港完工	
1971	46	篠島老人憩の家開設	篠島小学校屋内運動場完成
1972	47	愛知三島水道企業団発足	
1973	48	フェリー「オリーブ」就航	
1974	49	公有水面埋立、面積 172,795 m ²	
1975	50	篠島漁港地先埋立工事完了	
1976	51		万葉歌碑建立
1977	52		篠島中学校へき地集会室兼屋内運動場完成
1978	53	知事、愛知三島視察 中部電力が高圧海底ケーブル敷設	
1979	54	し尿処理施設完成(処理能力 4kl/日) 定期航路に高速船「海燕」が導入される	篠島中学校校舎改築竣工 「篠島史蹟」復刻
1980	55		篠島中学校校舎改築、給食室竣工 県立内海高等学校篠島分校開校 篠島開発総合センター完成
1981	56	展望台完成 稚アワビ初放流	
1982	57	不燃物埋立処分地完成(埋立容量 4,141m ³) 篠島沖でフェリー海難訓練実施	
1984	59	町防災訓練実施(篠島中学校) フェリー乗船場移転、フェリー「はまつばき」就航	
1985	60		第1回篠島ハイキング大会開催 神明社貝塚発掘調査
1986	61	篠島支所が篠島開発総合センターへ移転	篠島小4年生が野島で野営体験(「野島サバイバル」) 篠島小学校校舎大規模改修
1987	62	篠島パークゴルフ場開設	
1988	63	ごみ処理施設完成(処理能力 5t/日) 篠島乗船センター全面移転 北山公園完成	篠島保育園新園舎完成
平成			
1989	元		帝井が町史跡に指定される
1990	2	国土利用計画法による監視区域に指定 知事、愛知三島視察 篠島漁港(加工場用地)完成	
1991	3	三河湾地域リゾート整備構想重点整備地区に指定 知多厚生病院附属篠島診療所開設	
1992	4	不燃物埋立処分地嵩上工事完了(埋立容量 4,141 m ³ → 8,316 m ³)	県立内海高校篠島分校体育館完成 ふるさとづくり事業により舟型山車完成
1993	5	新診療所施設完成	
1994	6	第3回愛知の豊かな海づくり大会	南風ヶ崎遺跡発掘調査
1996	8	国土利用計画法による監視区域を解除 つり天国(篠島漁協直営)開設	篠島小学校プール完成
1998	10	ごみの分別収集開始 篠島パークゴルフ場閉鎖	古式に則った伊勢神宮へのおんべ鯛奉納行事復活 正法禅寺の梵鐘・雲版が町文化財に指定される
2000	12	海底送水管布設替完了(師崎～篠島)	
2001	13	篠島生きがい活動支援センター設置 愛知三島水道企業団解散(離島水道事業を南知多町水道 事業に一元化)	

西暦	年号	政治・経済・社会	教育・文化
2002	14	篠島し尿処理施設閉鎖（本土側衛生センターへ搬送開始） 行政情報システム整備事業により住民用端末設置 篠島ごみ処理施設閉鎖（本土側クリーンセンターへ搬送開始）	学校給食調理施設を本土側の施設に統合
2003	15		篠島小学校が第 35 回中日教育賞受賞
2004	16	フェリー「しまゆり」就航 国土交通省による「離島ツアー」開催	県立内海高校篠島分校閉校 神明社貝塚出土骨角器・装身具が町文化財に指定される
2005	17	役場支所を廃止し篠島サービスセンターを開設 師崎港駐車場供用開始	
2006	18		篠島小学校移転（南風崎 7 番地、中学校と同一敷地） 山弘法を復興し、島弘法と改称
2007	19	篠島海水浴場を「サンサンビーチ」と命名	
2008	20	篠島観光ガイド発足 しらすのマスコットキャラクター「しらっぴー」を作成	
2009	21		「島の宝 100 景」に「伊勢神宮に奉納される御幣鯛」が選ばれる
2011	23	知事、愛知三島視察(10 月 10 日)	名古屋城築城の際に用いた矢穴の残った残石「矢穴石」を名鉄海上観光船乗り場前の広場に設置
2012	24	篠島ステンレス配水池新設、給水開始（2 月 9 日） 全国離島振興協議会支部事務局長会議開催	篠島ウミガメ隊発足
2013	25		篠島の御贄干鯛調製が町文化財に指定される
2014	26	篠島渡船ターミナル(島の駅 SHINOJIMA)竣工	名古屋城へ矢穴石を寄贈
2015	27		御遷宮祭（神明神社・八王子社 遷座祭・奉祝祭）
2016	28	篠島防災拠点施設建設工事竣工	篠島開発総合センター耐震工事
2017	29	「太一岬 キラキラ展望台」が恋人の聖地に認定	
令和			
2020	2	情報通信で光回線が接続	スマートアイランド推進実証調査業務（遠隔授業の実証調査）
2022	4	篠島生きがい活動支援センター廃止	



【作成】愛知県総務局総務部市町村課地域振興室

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目 1 番 2 号

電話 (052)954-6097(ダイヤルイン)